

ビデオカセット レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



SVO-2500

 警告	5
 注意	6
特長	8
使用上のご注意	9
安全上のご注意	9
取り扱い上のご注意	9
各部の名称と働き	10
前面	10
後面	11
表示窓	11
リモコン	12
メニュー一覧	13
接続	14
ビデオカメラ、モニター、マイクを接続する	14
アンテナとテレビを接続する	14
他のビデオ機器を接続する	15
コンピューターを接続する	15
リモートコントロールユニットを接続する	15
フットスイッチを接続する	15
リモコンの準備	16
電池の入れかた	16
リモコンで本機を操作するには	16
カセットの取り扱い	17
カセットの入れかた	17
カセットの取り出しかた	17
誤消去を防止する	17
時計を合わせる	18
チャンネルを設定する	19
自動でチャンネルを合わせる	19
設定したチャンネルを確認する	20
チャンネル番号を変更する	21
チャンネルを削除/追加する	22
受信状態を微調整する	23
記録する	24
基本的な記録のしかた	24
カセットの記録モードを選ぶ (S-VHS)	26
ツメの折れたカセットに記録する	27
ヘッドの使用時間を確認する	27
センサー記録	28
記録済みテープに音声を記録するー	
オーディオダビング	29

(続く)

再生する	30
基本的な再生のしかた	30
スピードを変えて再生する	32
記録部分の最後まで再生して巻き戻す/繰り返し再生するー ワントタイム/オートリピート再生	33
番組の頭から再生するーインデックス再生	34
記録部分の最後を探すーブランクサーチ	35
タイマー記録/タイマー再生	36
タイマー記録/タイマー再生する	36
タイマー再生後のテープ動作を設定する	38
タイマー記録または再生の予約内容を確認する/変更する/ 取り消す	39
画像を調整する	41
画像のチラつきを調整するートラッキング	41
テープに合わせて画質をよくするーAPC	41
動作モードを設定する	42
テープの装着状態をチェックする	42
電源を入れたときの動作モードを選ぶ	43
現在時刻やタイムカウンターを画面に出す	44
表示窓の表示を消す(省電力モード)	45
リモコンからの操作を無効にする	45
他の機器で本機を操作する(FOOT SW/TALLY端子を 利用する場合)	46
他の機器で本機を操作する(RS-232C端子を利用する場合)	47
RS-232Cインターフェース	48
ピン割り当て	48
データ形式	48
コマンド	48
コマンドテーブルー覧	53
保守・点検	54
ビデオヘッドのクリーニングをする	54
約1000時間のご使用を目安に点検を	54
ビデオデッキを長時間使用しないときは	54
保証書とアフターサービス	54
故障かな?と思ったら	55
仕様	56



下記の注意を守らないと、火災や感電により
死亡や大けがにつながる可能性があります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口へ交換をご依頼ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



指挟み

カセット挿入口に手を入れない

カセット挿入口に手をはさまれ、けがの原因となることがあります。

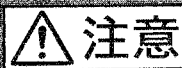


指示

本機は日本国内用です

交流100Vでお使いください。

海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。



注意

下記の注意を守らないと、

けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となる場合があります。



注意

接続の際は電源を切る

電源を入れたままで電源コードや接続コードを接続すると、感電や故障の原因となる場合があります。



注意

指定された電源コード、接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コード、接続コードを使わないと、感電や故障の原因となる場合があります。



禁止

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となる場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁などから通風口を10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となる場合があります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

製品の上に乗らない、重い物を載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となる場合があります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となる場合があります。



注意

移動させるときは電源コード、接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- リモートコマンダーに単3形乾電池を入れるときは、⊖極側から入れる。
⊕極側から乱暴に入れようとすると、特にアルカリ乾電池の場合、絶縁被膜が破れてショートすることがあり、液漏れや発熱のおそれがあります。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

S-VHS ETフォーマットを採用

S-VHS ETフォーマットの採用により、VHSテープでも、S-VHSテープと同等の画質で録画および再生ができます。

デュアルモードシャトルリング

リングを回す角度によって、いろいろなスピードでテープを走行させることができます。見たい部分を探すのに便利です。

センサー録画

ビデオ信号の入力によって自動的に記録をスタートさせることができます。

オートリピート再生、ワンタイム再生

テープの記録部分だけを自動的に繰り返し再生します。また、テープの記録部分だけを再生し、自動的にテープの初めまで巻き戻して停止することができます。

オーディオダビング機能

記録済みのテープに、あとから音声を記録することができます。

インデックススキャン、インデックスサーチ機能

テープに記録されたインデックス信号を使って、簡単に見たい番組を探して再生することができます。

タイマー録画、タイマー再生

タイマーをセットすると、設定した時間、日、曜日に自動的に記録、再生を始めることができます。

メモリーバックアップ機能

内蔵の充電式バッテリーにより、停電の場合でも時計動作やその他の設定を約30日間バックアップします。

APC¹⁾機能

自動的に最適な画質で記録、再生できます。

モニター画面上でのモード設定

記録時間の設定、タイマー録画の設定など、各種機能のモードをモニター画面上で設定できます。

フットスイッチ端子

別売りのフットスイッチFS-20などをつないで本機のコントロールができます。

コンピューターとの接続可能

RS-232C インターフェースを介してコンピューターから本機をコントロールできます。

オートヘッドクリーナー搭載

再生または記録の開始時および終了時に自動的にヘッドドラムをクリーニングするヘッドクリーナーを搭載しています。

コントロールS入力・出力端子

別売りのリモートコントロールユニットRM-V200やSVRM-100Aをつないで、本機のテープ走行などをコントロールできます。

テープの装着状態チェック機能

テープを入れると、テープが正常にドラムに装着されたかを自動的にチェックします。

その他の特長

- 高速テープ早送りおよび巻き戻し
- 電源投入時の自動再生、記録機能
- 表示窓の表示を消す節電機能
- クイックタイムメカの採用による記録スタートまでの時間短縮

1) APCは、Adaptive Picture Controlの略です。

使用上のご注意

安全上のご注意



警告

電源

- ・本機はAC 100V、50/60Hz電源で使用してください。
- ・動作可能電圧、消費電力などを記載した機銘板は本機の後面にあります。
- ・電源コードは壁のコンセントにつないでください。
- ・長期間使用しないときは、電源プラグを壁のコンセントから抜いてください。

取り扱い上のご注意



警告

使用・保管場所

長期間ご愛用いただくため、次のような場所での使用および保管は避けてください。

- ・極端に暑いところや寒いところ（使用温度は5℃～40℃です。）
- ・直射日光が長時間あたるところや暖房器具の近く（真夏、窓を開け切った自動車内では50℃を超えることがありますのでご注意ください。）
- ・湿気、ほこりの多いところ
- ・激しい振動のあるところ
- ・強い磁気を発生するものの近く
- ・強力な電波を発生するテレビ、ラジオの送信所の近く

水平位置で使用してください

- ・本機は水平平面上で動作するよう設計されています。傾いた場所に設置しないでください。

強い衝撃を与えないでください

落としたりして強い衝撃を与えると故障することがあります。

お手入れについて

お手入れをする前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・キャビネットやパネルの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・アルコール、シンナー、ベンジンや殺虫剤など、揮発性のものをかけると、変質したり塗料がはげることがあります。

日常点検

毎日のご使用の前に、前日の録画部分を再生して、異常のないことを確認してください。

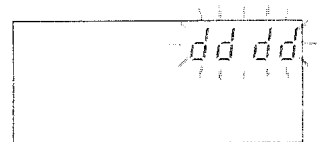
結露について

部屋の温度や湿度が急に変わると、水滴がビデオのヘッドドラムなどに付着することがあります。これを結露といいます。

この状態でテープの再生や記録を開始すると、テープがヘッドからみついて、ヘッドが重大な損傷を受けることがあります。結露による損傷をふせぐために、本機を使用しないときには、カセットを取り出しておくようにしてください。

結露が発生したときには、本機の表示窓に「dddd」が表示されて、本機の操作ができなくなります。

結露が消えると、表示も消えて、操作できるようになります。



輸送のときは

付属のカートン、または同等品で梱包し、急激な衝撃を与えないようにご注意ください。

ご使用にならないときは

カセットテープは必ず本機から取り出して保管するようにしてください。

大切な記録の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に記録されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

ビデオデッキやテープなどを使用中、万が一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたが記録・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

セッティングバックアップ機能について

- ・本機の背面には時間設定を持続するためのバックアップ用電池（リチウム電池）が装備されています。通常の使いかたでバックアップ用電池は充電されます。

最低約30時間でフル充電になり、約30日間は時間設定が維持されます。

ご注意

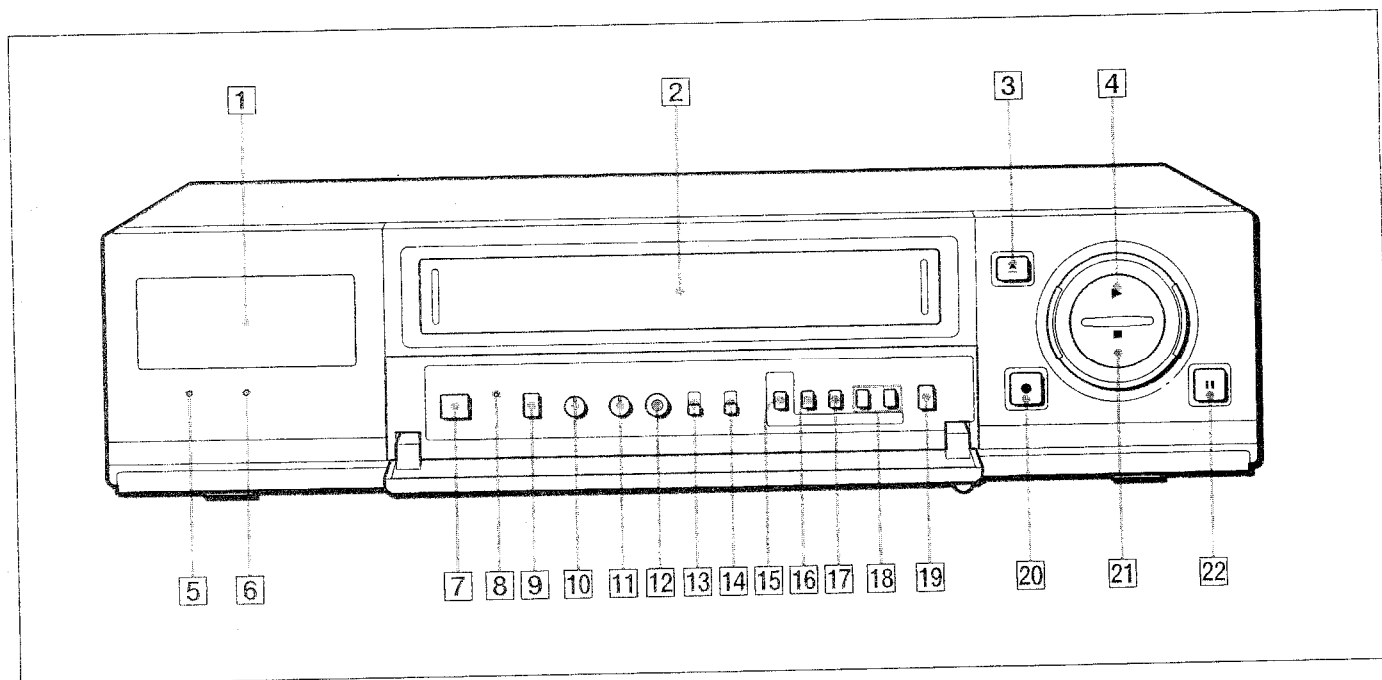
充電時間が30時間未満ですと、電源を切った場合セッティングは正しく継続されません。

- ・バックアップ用電池（リチウム電池）の交換につきましては、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

各部の名称と働き

() 内の数字は参照ページを示します。

前面



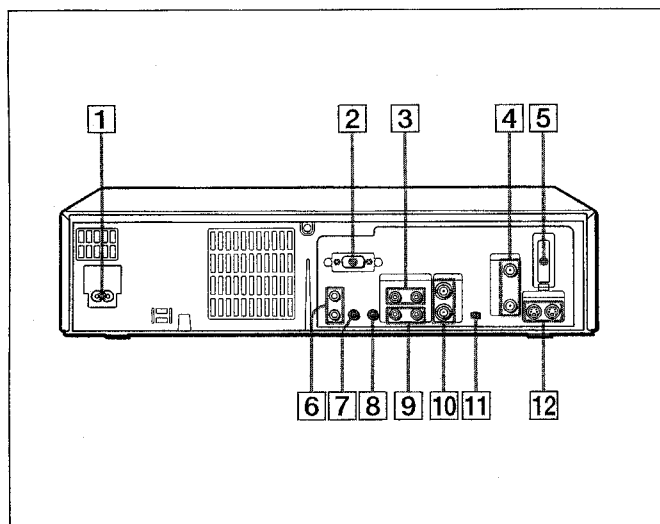
- ① 表示窓 (11)
- ② カセット挿入口
- ③ ▲ EJECT (カセット取出し) ボタン (17)
- ④ ▶ PLAY (再生) ボタン
- ⑤ POWER (電源) ランプ
- ⑥ SAVE MODE (セーブモード) ランプ (45)
- ⑦ POWER (電源) スイッチ
- ⑧ CL (クリアー) ボタン (55)

本機のシステムが作動しなくなった場合に押し、システムをリセットします。

- ⑨ TIMER (タイマー) ボタン (37、39)
- ⑩ REC LEVEL (録音レベル調整) つまみ (24、28)
- ⑪ HEAD PHONE (ヘッドホン音量調整) つまみ
ヘッドホン端子 ⑫ に接続したヘッドホンの音量を調整します。
- ⑫ ヘッドホン端子

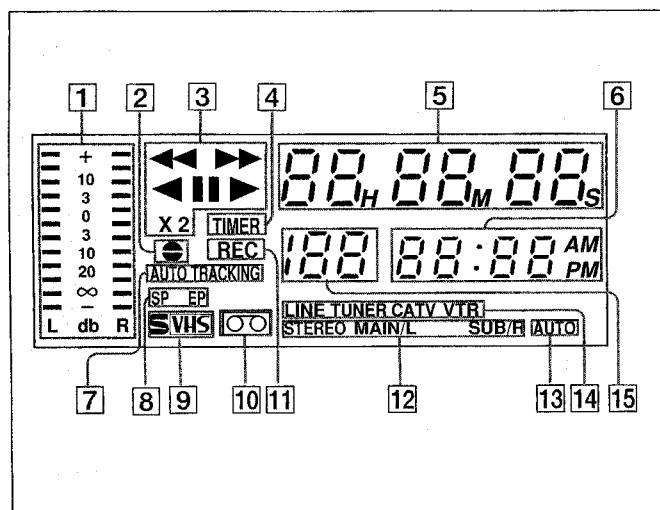
- ⑬ CONTROL RMT/LOCAL (コントロール リモート/ローカル) 切替スイッチ (16、47)
- ⑭ SAVE MODE ON/OFF (節電モード入/切) スイッチ (45)
- ⑮ MENU (メニュー) ボタン (13)
- ⑯ INPUT SELECT (入力切換) /MENU▼ボタン
- ⑰ TAPE SPEED (記録時間) /MENU▶ボタン
- ⑱ CH/TRACKING (チャンネル/トラッキング) +/- ボタン
- ⑲ COUNTER RESET (カウンターリセット) ボタン (44)
- ⑳ ● REC (録画) ボタン (24)
- ㉑ ■ STOP (停止) ボタン (24、30、32)
- ㉒ || PAUSE (一時停止) ボタン (24、30、32)

後面



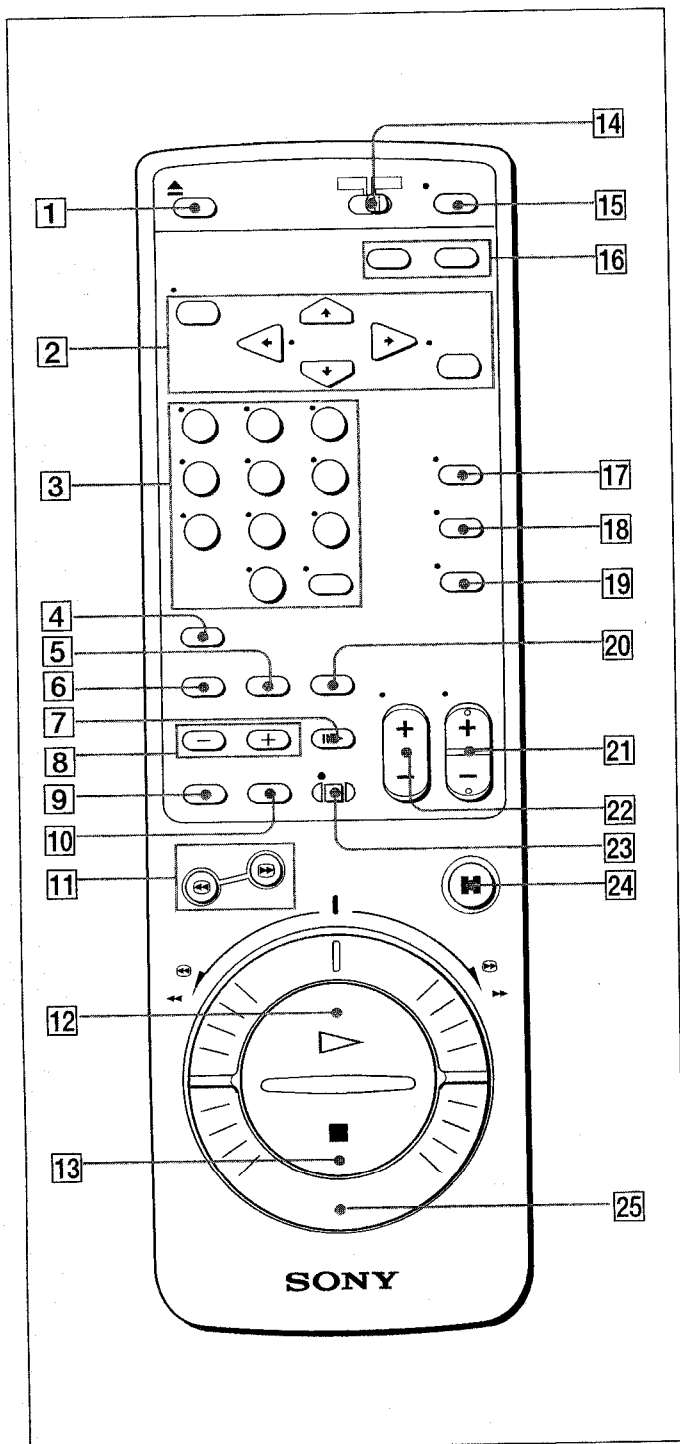
- ① AC IN (AC電源) 端子 (14)
- ② RS-232C 端子 (15、48)
- ③ AUDIO IN (音声入力) R/L 端子 (ピンジャック) (15)
- ④ VHF/UHF IN/OUT (アンテナ入力/出力) 端子 (14)
- ⑤ バックアップ電池収納部 (9)
- ⑥ CTL-S IN/OUT (コントロールS入力/出力) 端子 (15)
- ⑦ FOOT SW/TALLY (フットスイッチ/タリー) 端子 (15)
- ⑧ MIC IN (マイク入力) 端子 (14)
- ⑨ VIDEO IN/OUT (ビデオ入力/出力) 端子 (BNCコネクター) (14、15)
- ⑩ AUDIO OUT (音声出力) R/L 端子 (ピンジャック) (14、15)
- ⑪ RF CHANNEL (チャンネル切換) CH1/CH2 スイッチ (14)
- ⑫ S-VIDEO IN/OUT (Sビデオ入力/出力) 端子 (14、15)

表示窓



- ① 音声レベルメーター
- ② ●(オーディオダビング) 表示 (29)
- ③ テープ動作表示
- ④ タイマー録画待機表示 (37、39)
- ⑤ タイムカウンター (44)
- ⑥ 時計表示 (44)
- ⑦ AUTO TRACKING (オートトラッキング) 表示 (41)
- ⑧ 記録時間 (SP/EP) (標準/3倍) 表示 (25)
- ⑨ S-VHS表示 (26)
- ⑩ カセット表示
- ⑪ REC (記録) 表示
- ⑫ 音声出力 (STEREO、MAIN/L、SUB/R) (ステレオ、主左音声、副右音声) 表示 (31)
- ⑬ AUTO (オートプレイ) 表示 (34)
- ⑭ 入力 (LINE/TUNER/CATV/VTR) (外部ライン入力/チューナー) 表示 (25)
- ⑮ インデックス番号表示 (34)

リモコン



- ① ▲ EJECT (カセット取り出し) ボタン (17)
- ② メニュー操作ボタン (13)
MENU (メニュー) ボタン
CURSOR (カーソル) ↑ / ↓ / ← / → ボタン
EXECUTE (実行) ボタン
- ③ 数字ボタンとENTER (決定) ボタン (テレビ専用)
- ④ COUNTER RESET (カウンターリセット) ボタン (44)
- ⑤ AUTO TRACKING (オートトラッキング) ボタン (41)
- ⑥ INPUT SELECT (入力切換) ボタン (24)
- ⑦ ■▶ FRAME (コマ送り) ボタン (32)
- ⑧ ▶ SLOW -/+ (スロー再生) ボタン (32)
- ⑨ BLANK SEARCH (ブランクサーチ) ボタン (35)
- ⑩ INDEX (インデックス) ボタン (34、35)
- ⑪ ⏮ / ⏭ SEARCH (サーチ) ボタン (32)
- ⑫ ▷ PLAY (再生) ボタン (30、32)
- ⑬ ■ STOP (停止) ボタン (24、30、32)
- ⑭ TV / VTR (テレビ/ビデオ) 切換スイッチ (16)
- ⑮ POWER (電源) スイッチ
- ⑯ TIMER (タイマー) ボタン
ON/OFF (入/切) ボタン (37、39)
CLEAR (取り消し) ボタン (39)
- ⑰ TV/VTR (テレビ/ビデオ入力切換) ボタン
本機では使用しません。
- ⑱ AUDIO MONITOR (音声モニター切換) ボタン (31)
- ⑲ DISPLAY (表示切換) ボタン (44)
- ⑳ TAPE SPEED (記録時間) (SP/EP)(標準/3 倍) ボタン (24)
- ㉑ CH +/- (チャンネル) ボタン (19)
- ㉒ VOL +/- (音量) ボタン (テレビ専用)
- ㉓ ● REC (記録) ボタン (24)
- ㉔ ■ PAUSE (一時停止) ボタン (24、30、32)
- ㉕ DUAL MODE SHUTTLE (デュアルモードシャトル) リング (30、32)

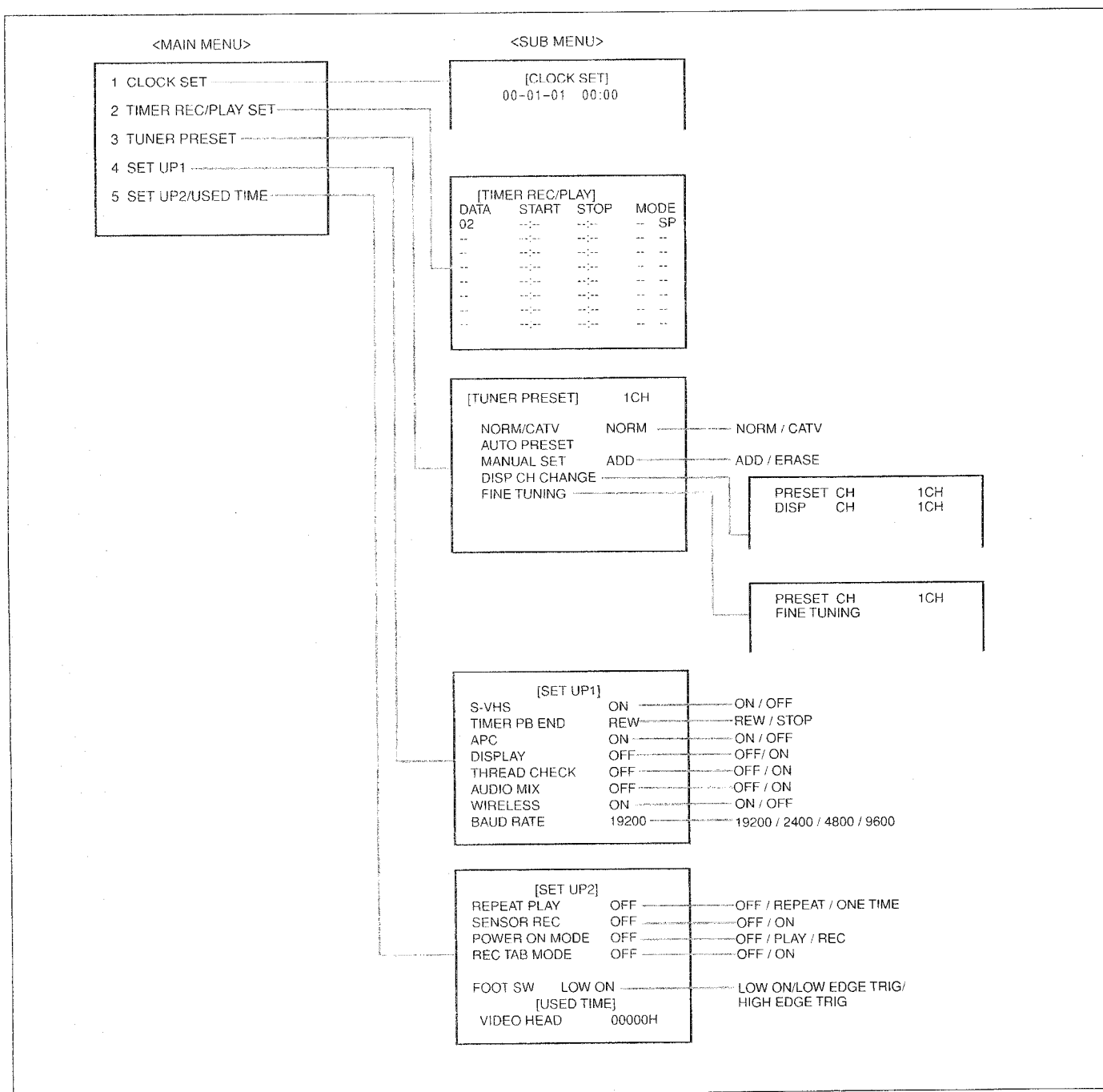
メニュー一覧

メニュー操作は本体とリモコンのどちらでも行なえます。

操作	本体のボタン	リモコンのボタン
メニューの表示/切り換え	MENU	MENU
カーソルを下に移動	MENU▼	CURSOR ↓
カーソルを上移動	—	CURSOR ↑
設定項目を変更	CH/TRACKING +/-	CH +/-
設定を確定	MENU▶	EXECUTE (一部CURSOR▶)
カーソルを左右に移動	MENU▶	CURSOR ◀ / ▶

なお、本書では、同一の操作を本体とリモコンの名称の異なるボタンで行う場合は、以下のように「本体のボタンの名称 (リモコンのボタンの名称)」と表記しています。このとき、リモコンのCURSOR (カーソル) ↓ / ↑ / ▶ / ◀ ボタンは、「↓ / ↑ / ▶ / ◀」と「CURSOR」を省略して記載しています。

例: MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押します。
MENU▼ (↓) ボタンを押します。

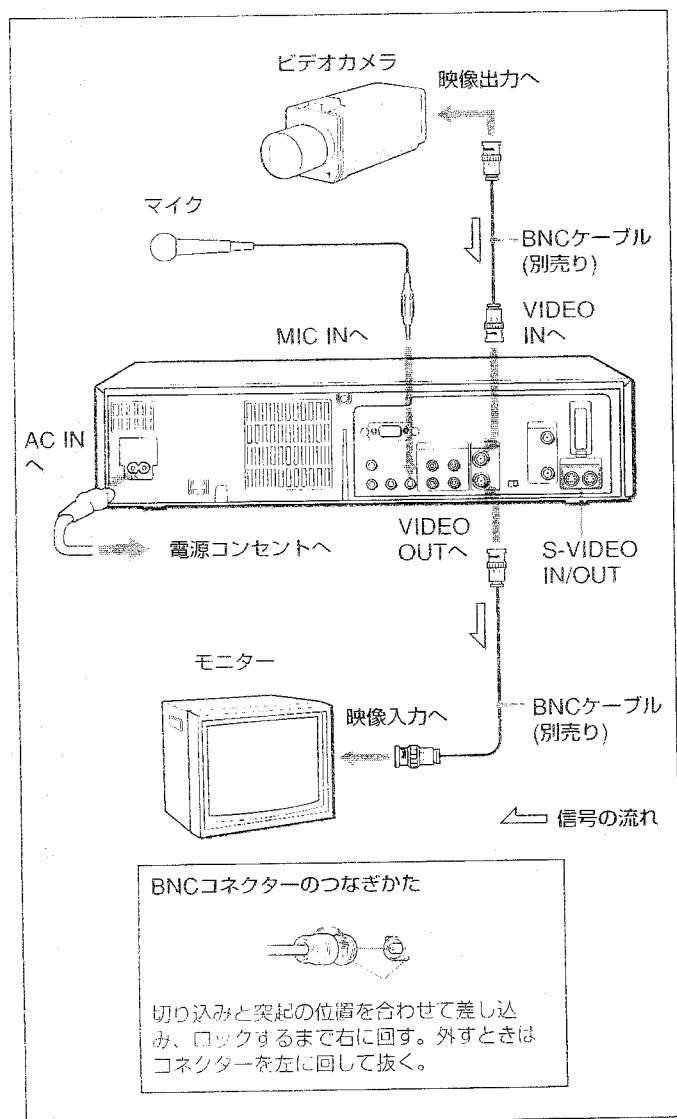


接続の前に

- ・各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続はノイズの原因になります。
- ・電源コードは最後につないでください。

ビデオカメラ、モニター、マイクを接続する

ビデオカメラからの信号を本機に入力して、その信号を記録するときの接続例を示します。マイクはオーディオダビング時にも必要になります。



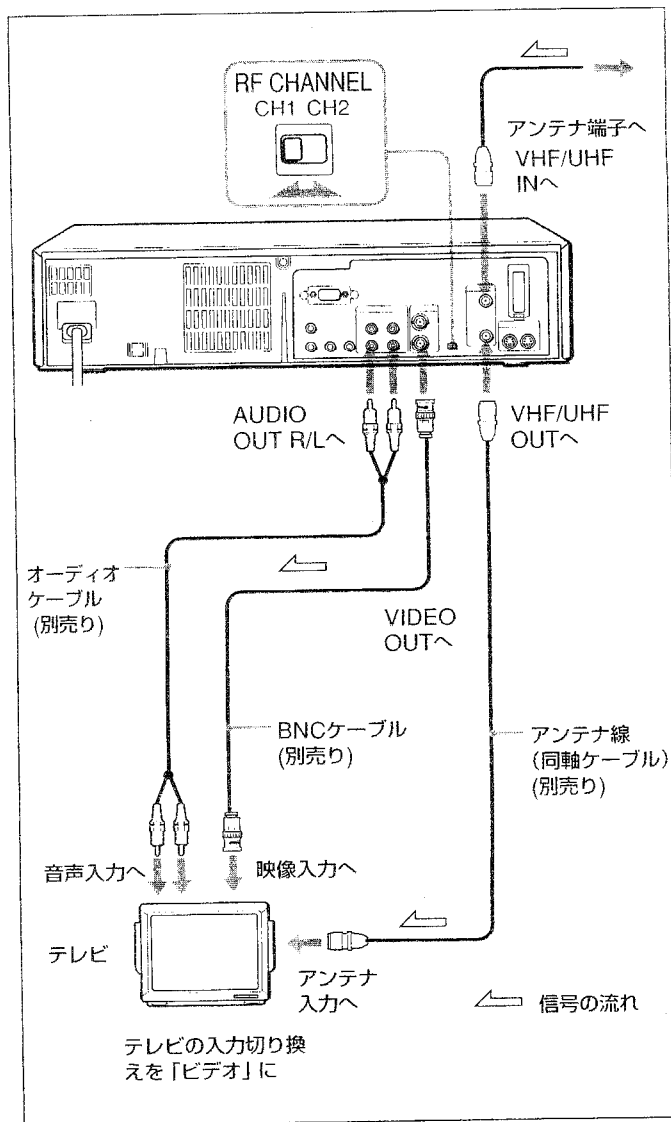
接続する機器がSビデオ端子付きの場合は

本機のS-VIDEO IN/OUT端子につなぎます。

S-VIDEO IN端子、VIDEO IN端子に同時に接続した場合は、S-VIDEO INが優先します。

アンテナとテレビを接続する

内蔵のチューナーを使って番組を記録するために、アンテナとテレビを接続します。

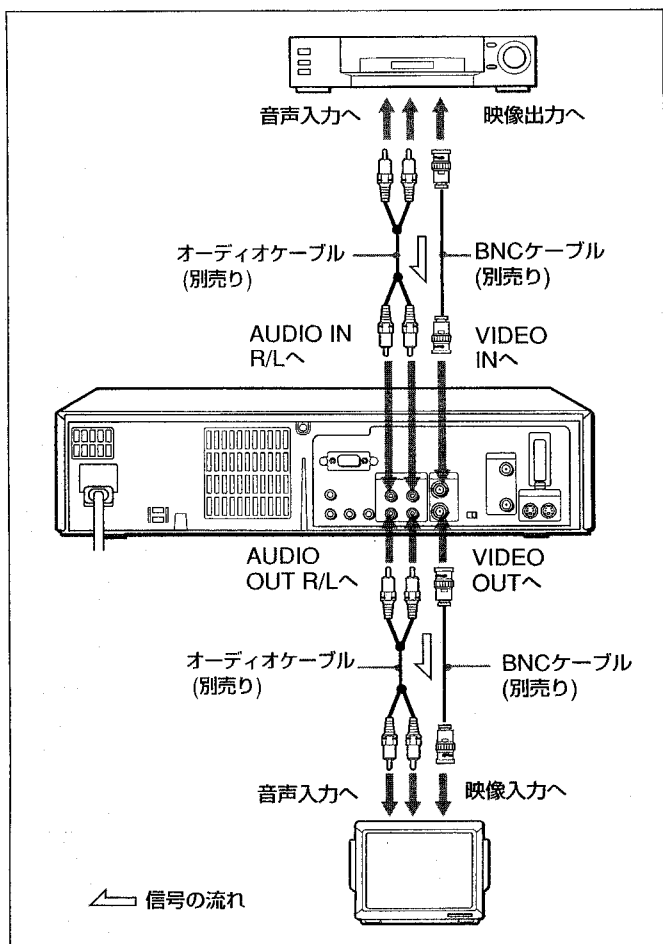


RF CHANNEL (チャンネル切換) スイッチを合わせる (テレビに映像・音声入力端子がないとき)

テレビに映像・音声入力端子がなく、本機とテレビをアンテナ線 (同軸ケーブル) だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル (CH1またはCH2) に合わせます。

他のビデオ機器を接続する

他のビデオ機器からの信号を本機に入力して、その信号を記録するときの接続図を示します。



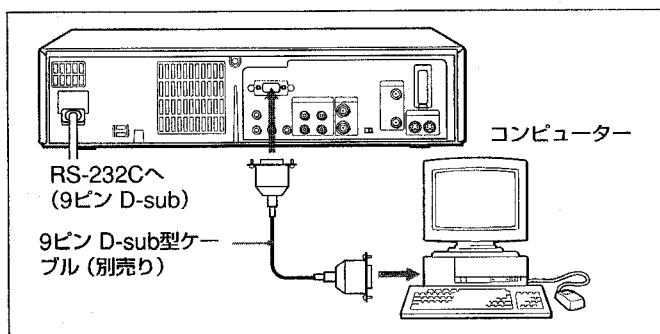
接続する機器がSビデオ端子付きの場合は

本機のSVIDEO IN/OUT端子につなぎます。SVIDEO IN端子、VIDEO IN端子に同時に接続した場合は、SVIDEO INが優先します。

コンピューターを接続する

コンピューターを使って本機をコントロールする場合の接続図を示します。

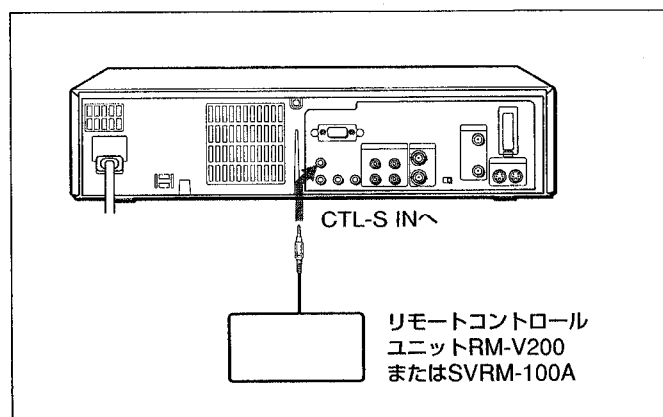
◆ RS-232C インターフェースについては48ページをご覧ください。



リモートコントロールユニットを接続する

別売りのリモートコントロールユニットRM-V200またはSVRM-100Aを使って、本機のテープ走行などを操作する場合の接続図を示します。

◆ RM-V200、SVRM-100Aの使い方については、それぞれに付属の説明書をご覧ください。



ご注意

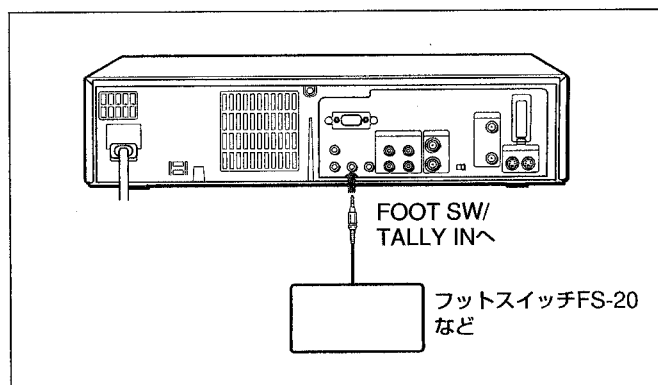
リモートコントロールユニットに、機能(動作)ボタンがあっても、本機にその機能がない場合は、コントロールを受け付けません。

フットスイッチを接続する

別売のフットスイッチFS-20をつないで本機をコントロールしたり、外部機器のタリー端子につないで、タリーランプを点灯させることができます。

ご注意

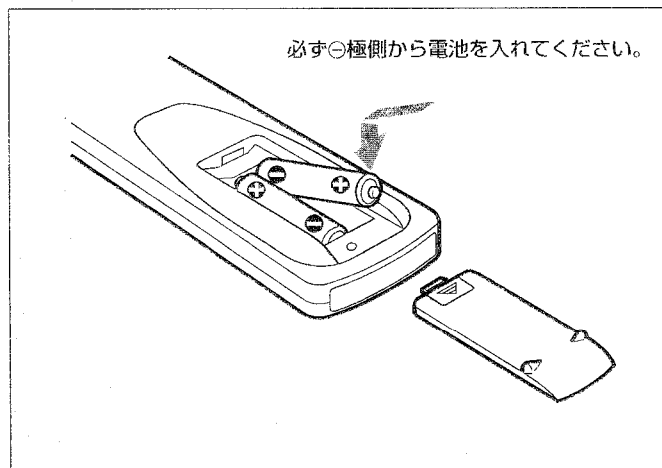
フットスイッチの接続とタリー端子の接続を同時に行うことはできません。



リモコンの準備

電池の入れかた

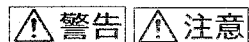
リモコン裏面の電池ぶたをあけ、単3形乾電池2個（付属）を⊕と⊖の向きを合わせて入れます。



電池の交換時期

ふつうの使いかたで約6か月もちます。

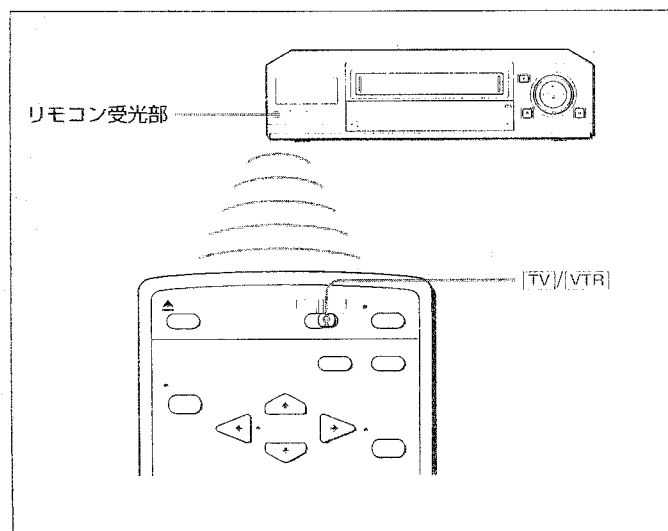
乾電池についてのご注意



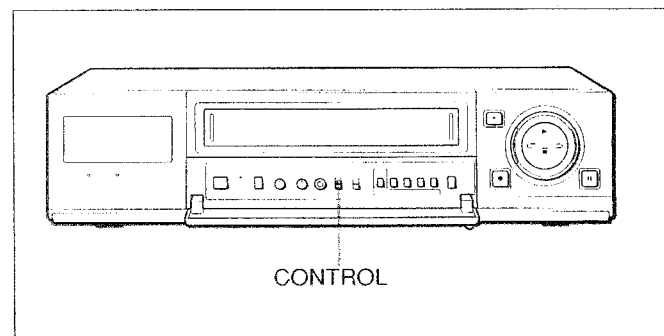
7ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

リモコンで本機を操作するには

リモコンの[TV]/[VTR]切換スイッチを[VTR]側に設定してから、ビデオ本体のリモコン受光部にリモコンを向けてボタンを押します。



リモコンをご使用になる前に、ビデオ本体前面のCONTROL切換スイッチの位置が、「LOCAL」に設定されているかお確かめください。スイッチの設定が違っているとリモコンは働きません。



ワイヤレスリモコンを使わないときは

RS-232C端子に接続したパソコンから本機をコントロールする場合は、CONTROL切換スイッチの位置を「RMT」（リモート）にします。ビデオ前面のリモコン受光部がリモコン信号を受け付けなくなります。（同時に本体前面のボタンも操作を受け付けなくなります。）CONTROL切換スイッチの位置に関係なく[SET UP1]メニューで、リモコンからの操作を無効に設定することもできます。

◆ 詳しくは、「リモコンからの操作を無効にする」（45ページ）をご覧ください。

付属のリモコンでソニーのテレビを操作するには

リモコンの[TV]/[VTR]切換スイッチを[TV]側に設定してから、テレビのリモコン受光部にリモコンを向けてボタンを押します。リモコンの左上に丸印（●）のあるボタンがテレビ用のボタンです。

カセットの取り扱い

ここでは使用できるカセットとカセットの出し入れのしかたについて説明しています。

使用できるカセットについて

本機にはS-VHSおよびVHSカセットを使用してください。

S-VHSカセットを使ってS-VHS方式の記録をする場合と、VHSカセットにS-VHS記録(S-VHSET)をする場合は、本機の「SET UP1」メニューで「S-VHS」を「ON」に設定します。

◆ 詳しくは、「カセットの記録モードを選ぶ(S-VHS)」(26ページ)をご覧ください。

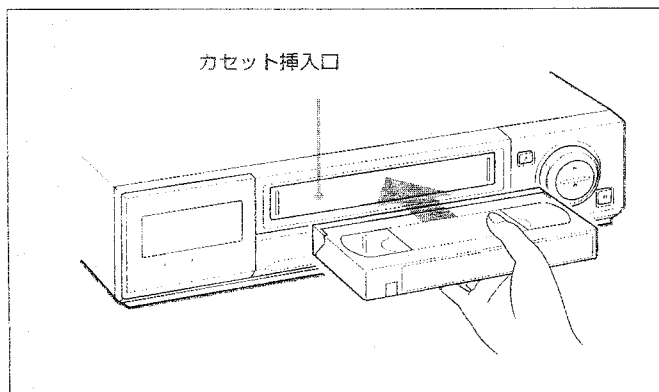
カセットの入れかた

テープが見える面を上にして、カセットの中央付近を軽く押して、カセットを入れます。

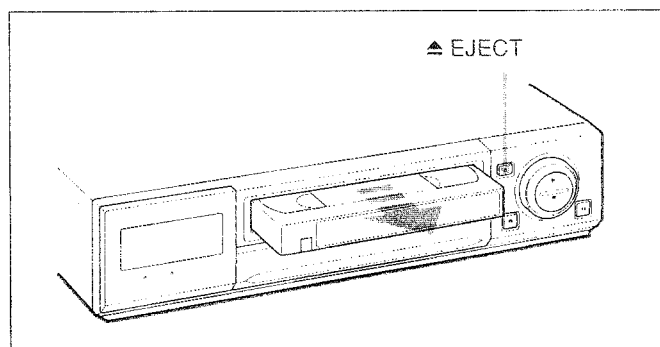
カセットを入れると電源が自動的に入り、●●表示が表示窓に点灯します。

誤消去防止ツメを折ったカセットを入れて録画を始めると、カセットは自動的に排出されます。「SET UP2」メニューで、ツメを折ったカセットでも録画できるように設定することもできます。

◆ 詳しくは、「ツメの折れたカセットに記録する」(27ページ)をご覧ください。



カセットの取り出しかた



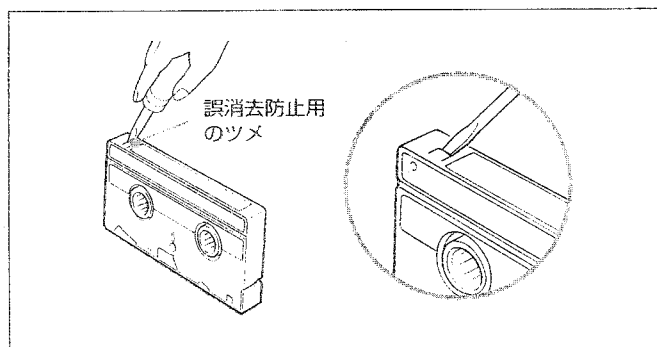
本機の▲ EJECTボタンを押す。本機の電源が入っていないときでも、カセットを取り出すことができます。

▲ EJECTボタンを押すと、自動的に本機の電源が入ります。カセットを排出すると、自動的に本機の電源が切れます。

誤消去を防止する

記録後にカセット底面の誤消去防止用のツメを、ドライバーなどを使って折ります。

ツメを折っておくとそのカセットには録画ができなくなります。



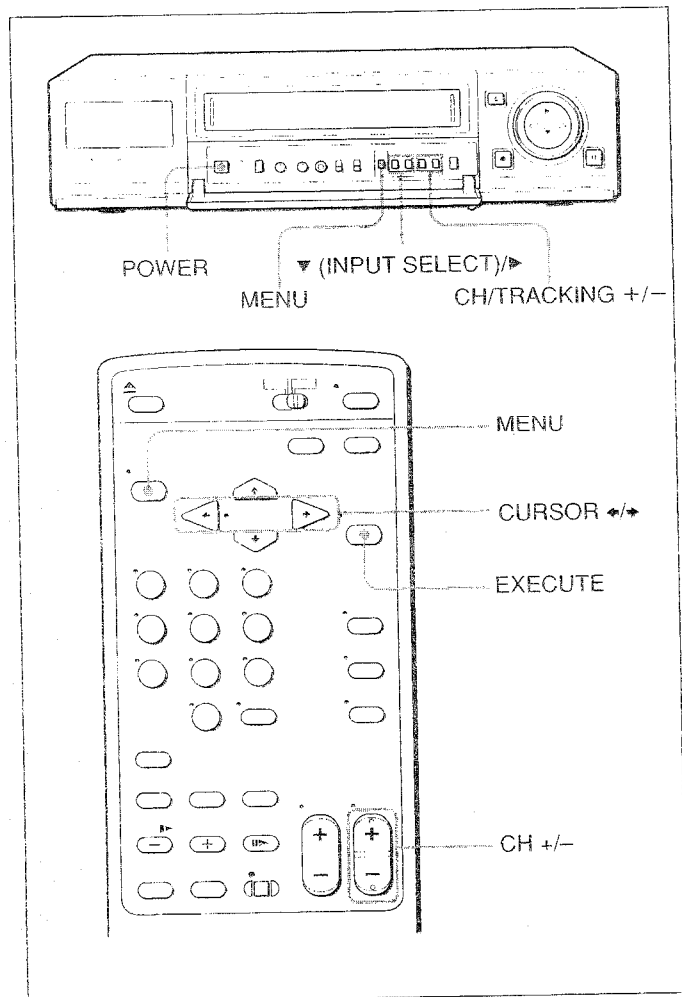
再び録画したいときは、ツメを折った穴にセロハンテープを貼ると記録できるようになります。2重に貼ると、より確実です。

なお、「SET UP2」メニューで、ツメの折れたカセットにも録画できるように設定できます。

◆ 詳しくは、「ツメの折れたカセットに記録する」(27ページ)をご覧ください。

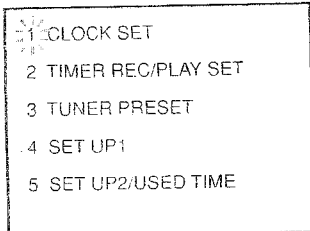
時計を合わせる

タイマー記録や、タイマー再生をするには、時計合わせが必要です。

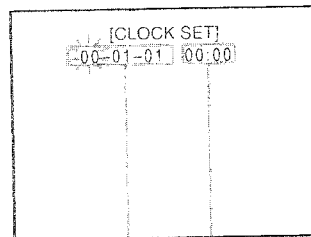


1 使用する機器の電源を入れる。

2 MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。

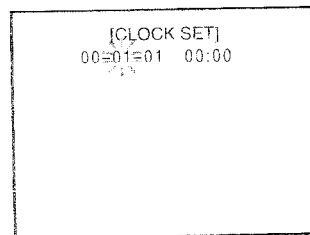


3 CLOCK SET の「1」が点滅していることを確認して、MENU► (EXECUTE) ボタンを押す。
[CLOCK SET] メニューが表示されます。「年」(00) が点滅しています。初期設定は2000年1月1日です。

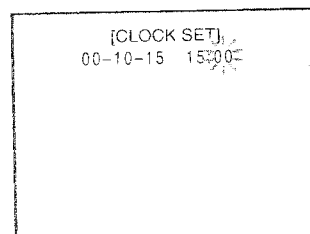


年-月-日 時間

4 CH/TRACKING + または - (CH +/-) ボタンを押して「年」を合わせ、MENU► (CURSOR▶) ボタンを押す。
「月」が点滅します。



5 同様に、CH/TRACKING + または - (CH +/-) ボタンと MENU► (CURSOR▶) ボタンを使って、月→日→時→分の順に設定する。



6 時報に合わせて MENU ボタンを押す。
時計が設定した時間の 00 秒から動き始めます。

7 設定が終わったら、MENU ボタンを押して、通常の画面に戻す。

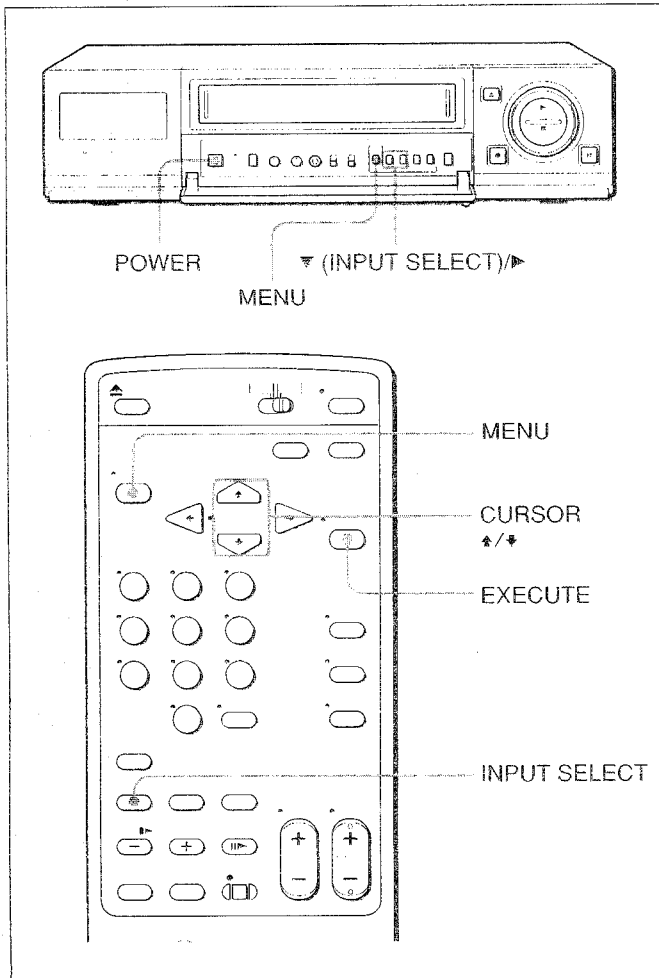
途中でまちがえたときは

MENU► (CURSOR◀または▶) ボタンを押し、まちがった設定を点滅させ、CH/TRACKING + または - (CH +/-) ボタンで直します。

チャンネルを設定する

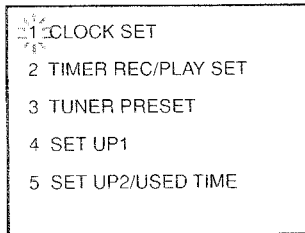
自動でチャンネルを合わせる

受信できるVHF放送とUHF放送、CATV放送（共聴システムなどでCATV放送が受信できる場合のみ）のチャンネルを自動的に合わせることができます。放送のある時間帯に行ってください。

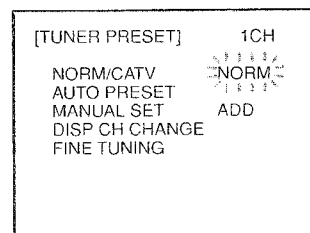


- 1 使用する機器の電源を入れる。
- 2 本機の表示窓に「TUNER」を表示させる。
「LINE」が表示されているときは、INPUT SELECTボタンを押して表示を切り換えます。

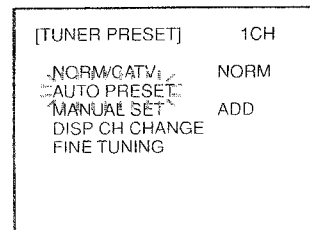
- 3 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。CLOCK SETの「1」が点滅します。



- 4 MENU▼ (◆) ボタンを押して、TUNER PRESETの「3」を点滅させ、MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
[TUNER PRESET] メニューが表示されます。NORM/CATV行が点滅しています。



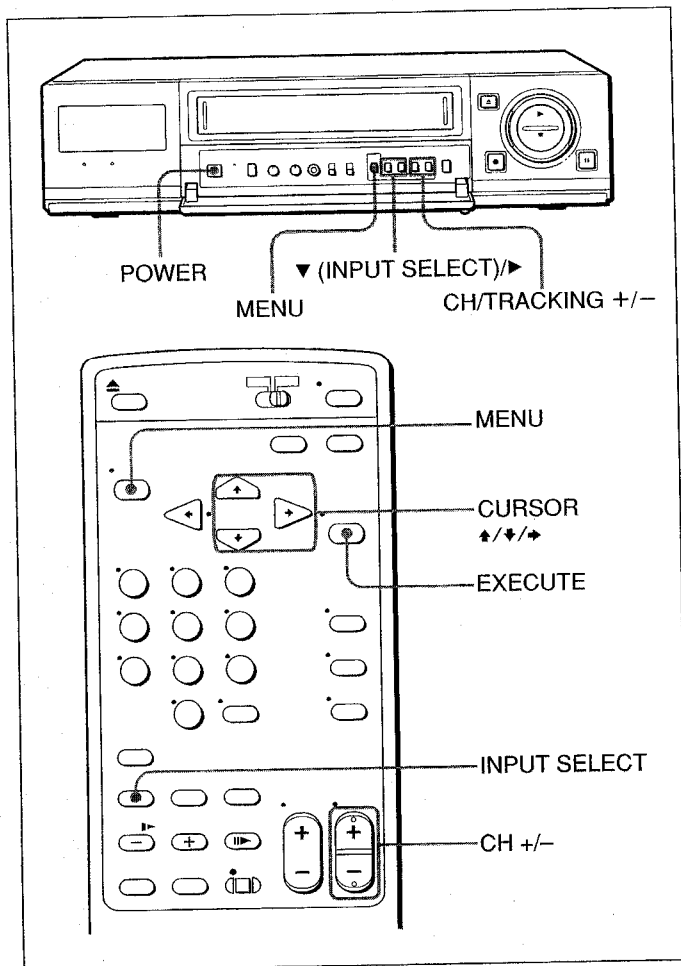
- 5 MENU▼ (◆) ボタンを押して、「AUTO PRESET」を点滅させる。



- 6 MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
自動チャンネル合わせが始まります。共聴システムなどでCATV放送も受信できる場合は、CATV放送のチャンネルも同時に設定されます。
チャンネル合わせが終わると、メニューが消えて、一番小さい番号のチャンネルの放送が画面に表示されます。

設定したチャンネルを確認する

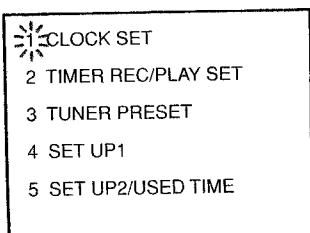
自動合わせしたチャンネルを受信し、確認します。



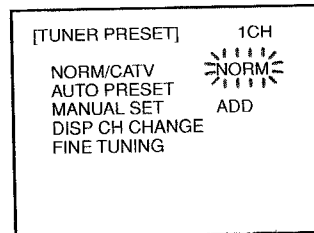
1 使用する機器の電源を入れる。

2 本機の表示窓に「TUNER」を表示させる。
「LINE」が表示されているときは、INPUT SELECT ボタンを押して表示を切り換えます。画面に現在受信しているチャンネルが表示されます。地上波 (NORM) とCATVのチャンネルを切り換えたい場合は手順**3**から**6**を行ってください。現在のチャンネルを見たいときは、手順**7**に進んでください。

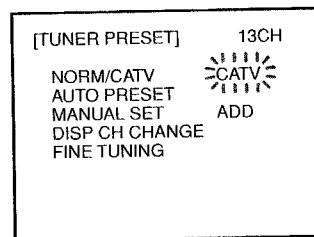
3 MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。



4 MENU▼ (↓) ボタンを押して、TUNER PRESETの「3」を点滅させ、MENU► (EXECUTE) ボタンを押す。
[TUNER PRESET] メニューが表示されます。NORM/CATV行が点滅しています。



5 MENU► (→) ボタンを押して、「NORM」または「CATV」を表示する。
NORM: 地上波 (VHF/UHFチャンネル) を見る。
CATV: CATVチャンネルを見る。



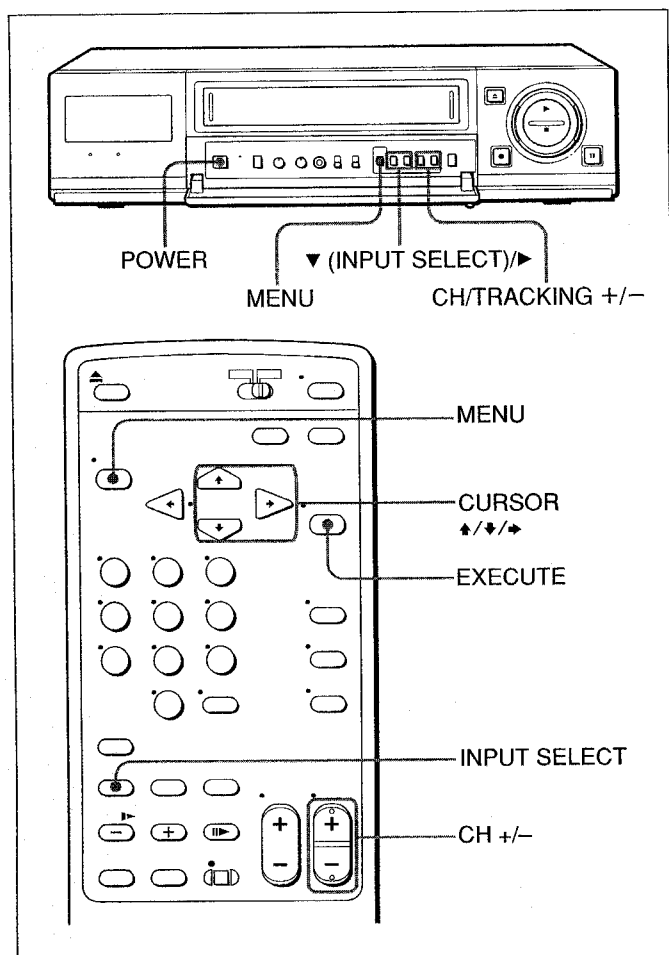
6 MENU ボタンを押して、通常の画面に戻す。

7 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して、チャンネルを切り換える。
チャンネル番号を変えたり、不要なチャンネルを飛ばしたい場合は、手動でチャンネルを設定することもできます。

◆ 詳しくは、「チャンネル番号を変更する」(21ページ)、「チャンネルを削除/追加する」(22ページ) をご覧ください。

チャンネル番号を変更する

チャンネル番号を変更することができます。

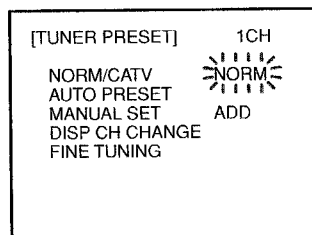


- 1 使用する機器の電源を入れる。
- 2 本機の表示窓に「TUNER」を表示させる。
「LINE」が表示されているときは、INPUT SELECTボタンを押して表示を切り換えます。
- 3 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 4 MENU▼(↓)ボタンを押して、TUNER PRESETの「3」を点滅させ、MENU▶(EXECUTE)ボタンを押す。
[TUNER PRESET]メニューが表示されます。NORM/CATV行が点滅しています。

- 5 MENU▶(→)ボタンを押して、「NORM」または「CATV」を表示する。

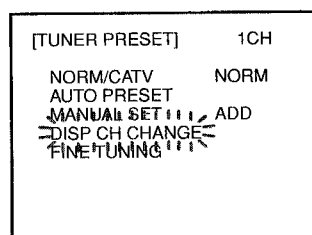
NORM: 地上波 (VHF/UHFチャンネル) を設定する。

CATV: CATVチャンネルを設定する。

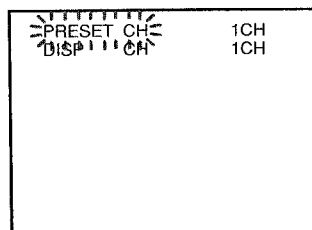


- 6 MANUAL SET行に「ADD」が点滅していることを確認する。
「ERASE」が点滅している場合は、MENU▼(↓)ボタンを押して、MANUAL SET行を点滅させ、MENU▶(→)ボタンを押して「ADD」を点滅させます。

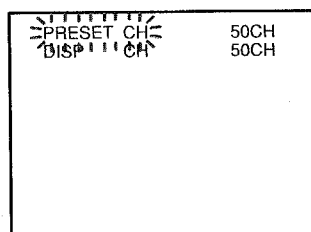
- 7 MENU▼(↓)ボタンを押して、「DISP CH CHANGE」を点滅させる。



- 8 MENU▶(EXECUTE)ボタンを押す。
現在選局中のチャンネルの映像が背景に、番号がPRESET CHに表示され、「PRESET CH」が点滅します。
DISP CHには、表示チャンネル番号が表示されます。



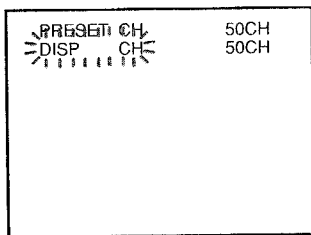
- 9 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して、変更したいチャンネルを表示する。



(続く)

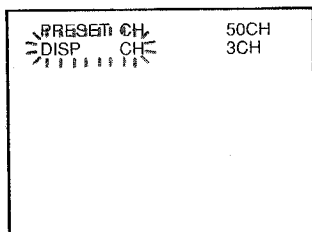
チャンネルを設定する

- 10 MENU▼ (⇩) ボタンを押して、「DISP CH」を点滅させる。



- 11 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して、表示したいチャンネル番号を選ぶ。

DISP CHのチャンネル番号が変わります。



- 12 MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。

チャンネル番号が確定され、表示窓に表示されます。

- 13 MENUボタンを押して、通常の画面に戻す。

チャンネルを削除/追加する

不要なチャンネルを映らないようにしたり、映らなくしたチャンネルを追加できます。

- 1 使用する機器の電源を入れる。

- 2 本機の表示窓に「TUNER」を表示させる。
「LINE」が表示されているときは、INPUT SELECT ボタンを押して表示を切り換えます。

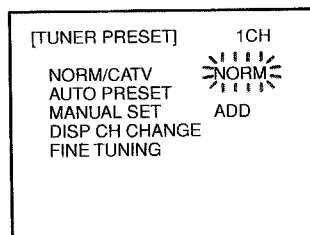
- 3 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。

- 4 MENU▼ (⇩) ボタンを押して、TUNER PRESETの「3」を点滅させ、MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
[TUNER PRESET] メニューが表示されます。NORM/CATV行が点滅しています。

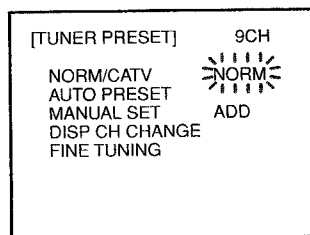
- 5 MENU▶ (⇨) ボタンを押して、「NORM」または「CATV」を表示する。

NORM: 地上波 (VHF/UHF チャンネル) を設定する。

CATV: CATV チャンネルを設定する。

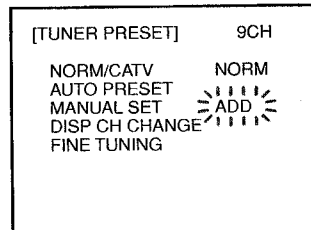


- 6 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して、追加または映らないように設定したいチャンネルを右上に表示する。



- 7 MENU▼ (⇩) ボタンを押して、MANUAL SET行を点滅させる。

「ADD」が点滅しています。



ADD 映らなくしていたチャンネルを追加する。

ERASE 不要なチャンネル (放送のないチャンネルなど) を飛ばす。

- 8 MENU▶ (⇨) ボタンを押して、「ADD」または「ERASE」を表示する。

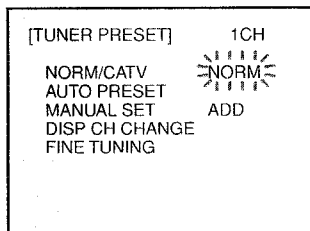
- 9 MENUボタンを押す。
選んだチャンネルが追加または消去されます。

- 10 MENUボタンを押して、通常の画面に戻す。

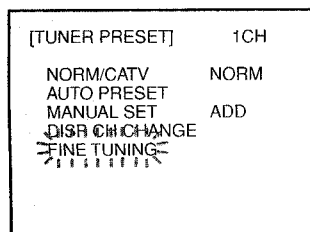
受信状態を微調整する

本機では、受信状態を自動的に調整するので、何もしなくてもきれいな画像で受信されます。それでも映りが悪いときは、手動で微調整してください。

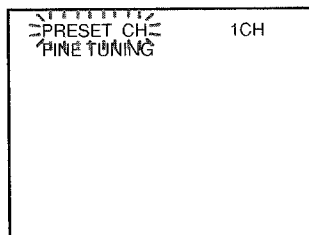
- 1 使用する機器の電源を入れる。
- 2 本機の表示窓に「TUNER」を表示させる。
「LINE」が表示されているときは、INPUT SELECT ボタンを押して表示を切り換えます。
- 3 MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 4 MENU▼(↓) ボタンを押して、TUNER PRESET の「3」を点滅させ、MENU▶(EXECUTE) ボタンを押す。
[TUNER PRESET] メニューが表示されます。NORM/CATV 行が点滅しています。
- 5 MENU▶(→) ボタンを押して、「NORM」または「CATV」を表示する。
NORM: 地上波 (VHF/UHF チャンネル) を設定する。
CATV: CATV チャンネルを設定する。



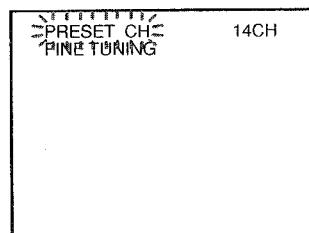
- 6 MENU▼(↓) ボタンを押して、「FINE TUNING」を点滅させる。



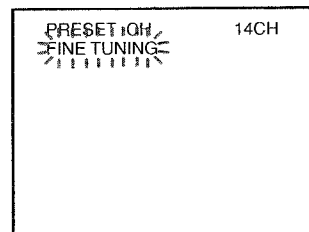
- 7 MENU▶(EXECUTE) ボタンを押す。
現在選局中のチャンネルの映像が背景に、番号が PRESET CH に表示され、「PRESET CH」が点滅します。



- 8 CH/TRACKING + または - (CH + / -) ボタンを押して、受信状態を微調整したいチャンネルを受信する。



- 9 MENU▼(↓) ボタンを押して、「FINE TUNING」を点滅させる。



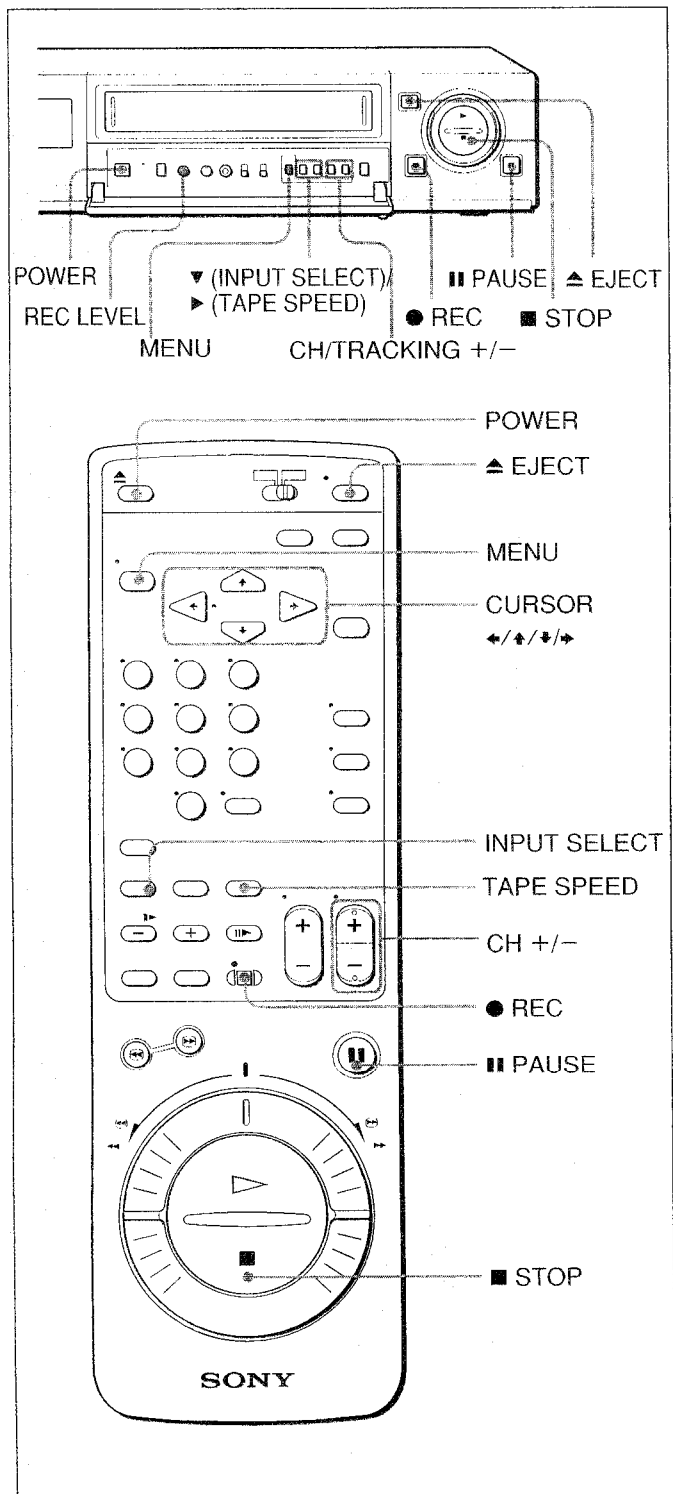
- 10 CH/TRACKING + または - (CH + / -) ボタンを押して、受信状態を調整する。
背景の画像で確認しながら調整します。

- 11 MENU▶(EXECUTE) ボタンを押す。
微調整が確定されます。

- 12 MENU ボタンを押して、通常の画面に戻す。

基本的な記録のしかた

ここでは、本機に接続した機器からの信号を記録する基本的な操作を説明します。



- 1 使用する機器の電源を入れる。
 - 2 カセットを入れる。
カセット背面の誤消去防止用のツメが折れていないことを確かめてください。
本機の電源が自動的に入ります。
テープの装着チェック (THREAD CHECK) が「ON」に設定されている場合は、表示窓のカセット表示が約5秒間点滅し、テープが正常に装着されたかどうかをチェックします。
◆ 詳しくは、「テープの装着状態をチェックする」(42ページ)をご覧ください。
 - 3 TAPE SPEEDボタンで記録時間、SP (標準) またはEP (3倍) を選ぶ。
◆ 記録時間については、「記録時間を選ぶには」(25ページ)をご覧ください。
 - 4 INPUT SELECTボタンで、記録する信号を選ぶ。
表示窓にいずれかを表示します。
- | 表示 | 入力信号 |
|-------|-------------------------|
| LINE | 本機の入力端子に接続した外部機器から記録する。 |
| TUNER | 内蔵のチューナーから記録する。 |
- 5 手順4で「LINE」を選んだときは、本機の入力端子に接続した外部機器から信号を入力する。
「TUNER」を選んだときは、CH/TRACKING + または - (CH +/-) ボタンで録画したいチャンネルを受信する。
◆ チャンネルの受信方法については、「設定したチャンネルを確認する」(20ページ)をご覧ください。
 - 6 REC LEVELつまみで録音レベルを設定する。
REC LEVELつまみの中央の位置を目安に合わせてください。
 - 7 ● RECボタンを押す。
REC表示が出て記録が始まります。
テープの終わりまで録画されると、自動的にテープの最初まで巻き戻されて止まります。

こんなときは	操作
記録の途中で不要な部分をカットするには	■ PAUSEボタンを押す。 記録を再開したいところで もう一度■ PAUSEボタンを押す。
記録を止めるには	■ STOPボタンを押す。
カセットを取り出すには	▲ EJECTボタンを押す。

ご注意

- S-VHS ET方式をお使いになるときは、ハイグレード(HG)のVHSテープに記録することをおすすめします。VHSテープの種類によっては、十分な画質が得られないことがあります。
- 誤消去防止用のツメが折れているカセットを入れると、● RECボタンを押したときカセットが出てきます。別のカセットを入れるか、ツメを折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。なお、[SET UP2]メニューで「REC TAB MODE」を「ON」に設定すると、ツメが折れているカセットでも記録することができます。
◆ 詳しくは、「ツメの折れたカセットに記録する」(27ページ)をご覧ください。
- [SET UP1]メニューで「DISPLAY」を「ON」に設定すると、記録中でも、現在時刻またはタイムカウンターが画面上に表示されますが、テープには記録されません。
◆ 詳しくは、「時刻表示やタイムカウンターを画面に出す」(44ページ)をご覧ください。
- カセットを挿入して記録を始めると、APC機能が働き、自動的に最適な画質で記録します。APC機能動作中は、● RECボタンを押してから記録が始まるまで約6秒かかります。
◆ 詳しくは、「テープに合わせて画質をよくするーAPC」(41ページ)をご覧ください。
- 記録中に停電があった場合でも、通電後直ちに記録が再開されます。

記録時間を選ぶには

記録時間(テープスピード)にはSP(標準)とEP(3倍)があります。記録を始める前、または記録中にTAPE SPEEDボタンを押してSPまたはEPを選びます。

EPを選ぶとSPよりも3倍長く記録できます。画質はSPのほうが優れています。

下表にカセットの種類と記録・再生時間を示します。

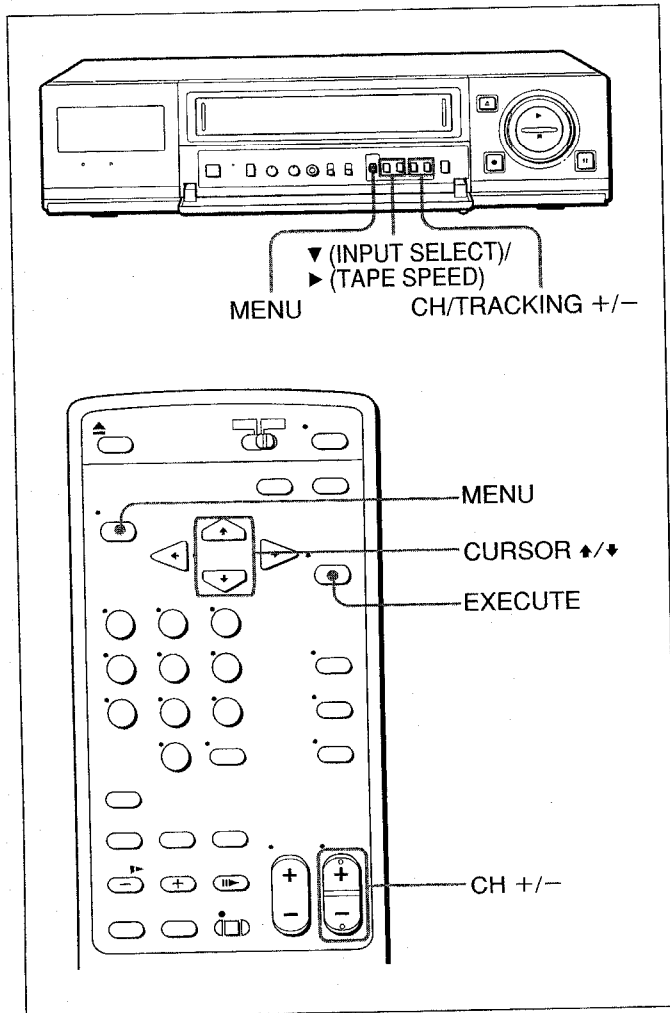
カセットの種類	カセットの型名	記録時間	
		SP(標準)	EP(3倍)
S-VHS カセット	VXST-60V	1時間	3時間
	VXST-120V	2時間	6時間
	VXST-140V	2時間 20分	7時間
	VXST-160V	2時間 40分	8時間
VHS カセット (ハイグレードテープ)	T-30VHGB	30分	1時間 30分
	T-60VHGB	1時間	3時間
	T-100VHGB	1時間 40分	5時間
	T-120VHGB	2時間	6時間
	T-140VHGB	2時間 20分	7時間
VHS カセット (標準テープ)	T-160VHGB	2時間 40分	8時間
	T-30VB	30分	1時間 30分
	T-60VB	1時間	3時間
	T-100VB	1時間 40分	5時間
	T-120VB	2時間	6時間
	T-140VB	2時間 20分	7時間
	T-160VB	2時間 40分	8時間

カセットの記録モードを選ぶ (S-VHS)

本機にはS-VHSおよびVHSカセットが使用できます。

S-VHSカセットを使ってS-VHS方式の記録をする場合と、VHSカセットにS-VHS記録 (S-VHS ET) をする場合は、[SET UP1] メニューで「S-VHS」を「ON」に設定します。表示窓に「S-VHS」が点灯します。

S-VHSカセットをVHS方式で録画する場合は、「OFF」に設定します。



- 1 MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。

CLOCK SET
2 TIMER REC/PLAY SET
3 TUNER PRESET
4 SET UP1
5 SET UP2/USED TIME

- 2 MENU▼ (↓) ボタンを押して、SET UP1の「4」を点滅させ、MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
[SET UP1] メニューが表示されます。S-VHS行が点滅しています。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

ON S-VHSカセットはS-VHS方式で、VHSカセットはS-VHS ET 記録する。

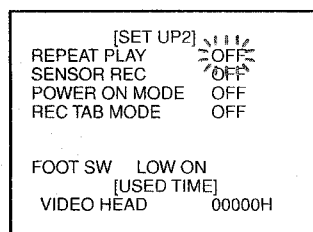
OFF S-VHSカセットもVHSカセットもVHS記録する。

- 3 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して、「ON」または「OFF」を表示する。
- 4 MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
設定が確定されます。
- 5 MENU ボタンを押して、通常の画面に戻る。

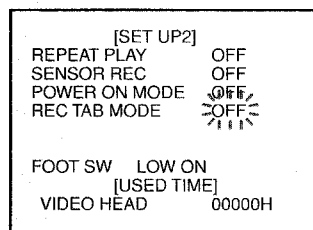
ツメの折れたカセットに記録する

ツメの折れたカセットでも記録できるように設定できます。

- 1 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼(▼)ボタンを押して、SET UP2/USED TIMEの「5」を点滅させ、MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
[SET UP2] メニューが表示されます。



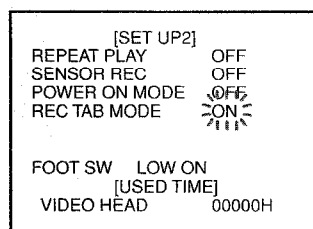
- 3 MENU▼(▼)ボタンを押して、REC TAB MODE行を点滅させる。



ON ツメの折れたカセットでも記録できる。

OFF ツメの折れたカセットでは記録しない。

- 4 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して、「ON」または「OFF」を表示する。

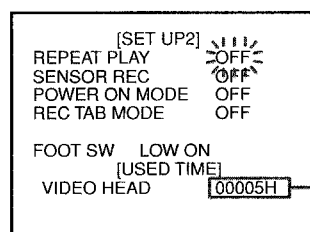


- 5 MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
設定が確定されます。
- 6 MENUボタンを押して、通常の画面に戻す。

ヘッドの使用時間を確認する

ヘッドの累積使用時間を確認することができます。

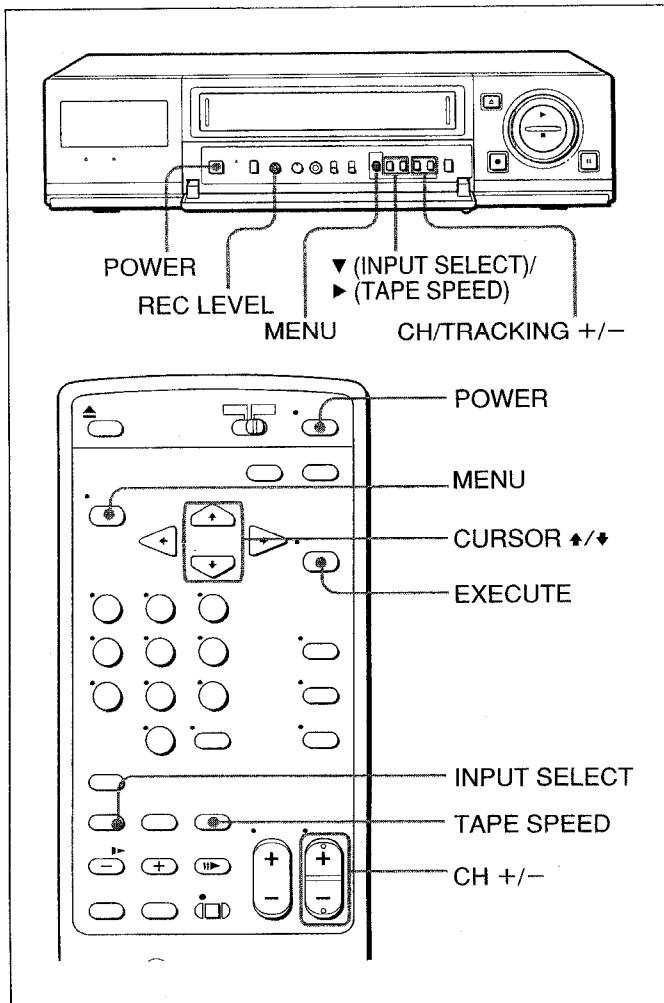
- 1 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼(▼)ボタンを押して、SET UP2/USED TIMEの「5」を点滅させ、MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
[SET UP2] メニューが表示されます。画面の下の [USED TIME] にヘッドの累積使用時間が表示されます。



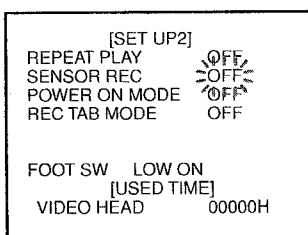
- 3 MENUボタンを押して、通常の画面に戻す。

センサー記録

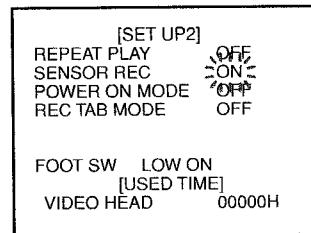
裏面のVIDEO IN端子にビデオ信号が入力されたときに、自動的に記録を始めることができます。



- 1 MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼(↓) ボタンを押して、SET UP2/USED TIMEの「5」を点滅させ、MENU▶(EXECUTE) ボタンを押す。
[SET UP2] メニューが表示されます。
- 3 MENU▼(↓) ボタンを押して、SENSOR REC行を点滅させる。



- 4 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して、SENSOR REC行に「ON」を表示する。



ON センサー記録をする。
OFF センサー記録をしない。

- 5 MENU▶(EXECUTE) ボタンを押す。
設定が確定されます。
- 6 MENU ボタンを押して、通常の画面に戻す。
- 7 本機の表示窓に「LINE」を表示させる。
「TUNER」が表示されているときは、INPUT SELECT ボタンを押して表示を切り換えます。
- 8 誤消去防止用のツメが折れていないカセットを入れる。
- 9 TAPE SPEED スイッチで記録時間 (SPまたはEP) を選ぶ。
- 10 REC LEVELつまみが中央の位置にあることを確認する。
- 11 本機の電源を切る。
センサー記録待機状態になります。

ご注意

誤消去防止用のツメが折れているカセットを入れると、電源を切ったとき、カセットが出てきます。別のカセットを入れるか、ツメを折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。なお、[SET UP2] メニューで「REC TAB MODE」を「ON」にすると、ツメが折れているカセットでも記録することができます。
◆ 詳しくは、「ツメの折れたカセットに記録する」(27ページ)をご覧ください。

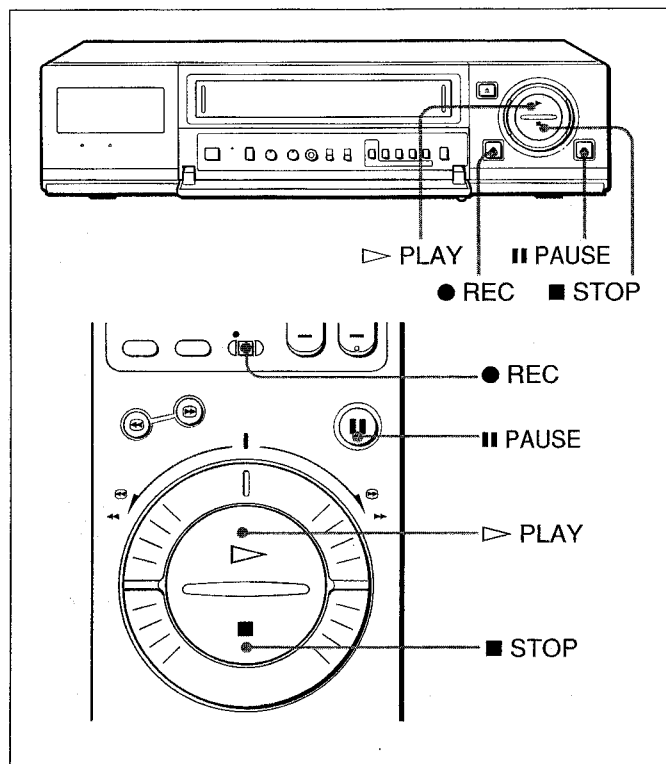
- 12 記録を始めたいとき、裏面のVIDEO IN端子からビデオ信号を入力する。
自動的に記録が始まります。テープの最後まで記録されると、記録が止まり電源が切れます。
途中でビデオ信号の入力が切れると、記録を停止し、センサー記録待機状態に戻ります。

センサー記録を解除するには

手順4で「SENSOR REC」を「OFF」に設定します。

記録済みテープに音声を記録するーオーディオダビング

ビデオ信号などを記録したテープに、あとから音声を記録することができます。音声は、映像とは別のノーマル音声トラックに記録されます。本体後面のMIC IN端子にマイク（別売り）を接続します。



- 1 音声を入りたい記録済みカセットを入れる。
カセット背面の誤消去防止のツメが折れていないことを確かめてください。
- 2 ▷PLAYボタンを押す。
再生が始まります。
- 3 音声を入りたい場面で、|| PAUSEボタンを押す。
- 4 ●RECボタンを押す。
表示窓に●表示が点灯して、マイクからの音声記録待機状態になります。
- 5 ▷PLAYボタンを押して、マイクから音声を入力する。
再生される画像に合わせて音声を吹き込みます。

音声記録を一時停止するには

|| PAUSEボタンを押す。

音声記録を再開するには、▷PLAYボタンを押す。

音声記録を解除するには

音声記録中または一時停止中に■STOPボタンを押す。

オーディオ機器から音声を記録するには

マイクが接続されていない場合は、マイクの代わりに、AUDIO IN端子に接続したオーディオ機器からの音声記録されます。操作方法はマイクの場合と同様です。

ご注意

誤消去防止用のツメが折れているカセットを入れると、●RECボタンを押したときカセットが出てきます。別のカセットを入れるか、ツメを折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。なお、[SET UP2]メニューで「REC TAB MODE」を「ON」に設定すると、ツメが折れているカセットでも記録することができます。

◆ 詳しくは、「ツメの折れたカセットに記録する」(27ページ)をご覧ください。

テープの音声とマイクからの音声を同時に聴くにはーオーディオミックス

再生時、オーディオダビング音声に加えて、映像と共に記録した音声も同時に聞くことができます。

- 1 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼(◆)ボタンを押して、SET UP1の「4」を点滅させ、MENU►(EXECUTE)ボタンを押す。
[SET UP1]メニューが表示されます。
- 3 MENU▼(◆)ボタンを押して、AUDIO MIX行を点滅させる。
- 4 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して、「ON」を点滅させる。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	ON
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	ON
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

ON オーディオダビング音声と映像と共に記録した音声を同時に聴くことができる。

OFF オーディオダビング音声と映像と共に記録した音声のいずれか一方の音声を聴くことができる。

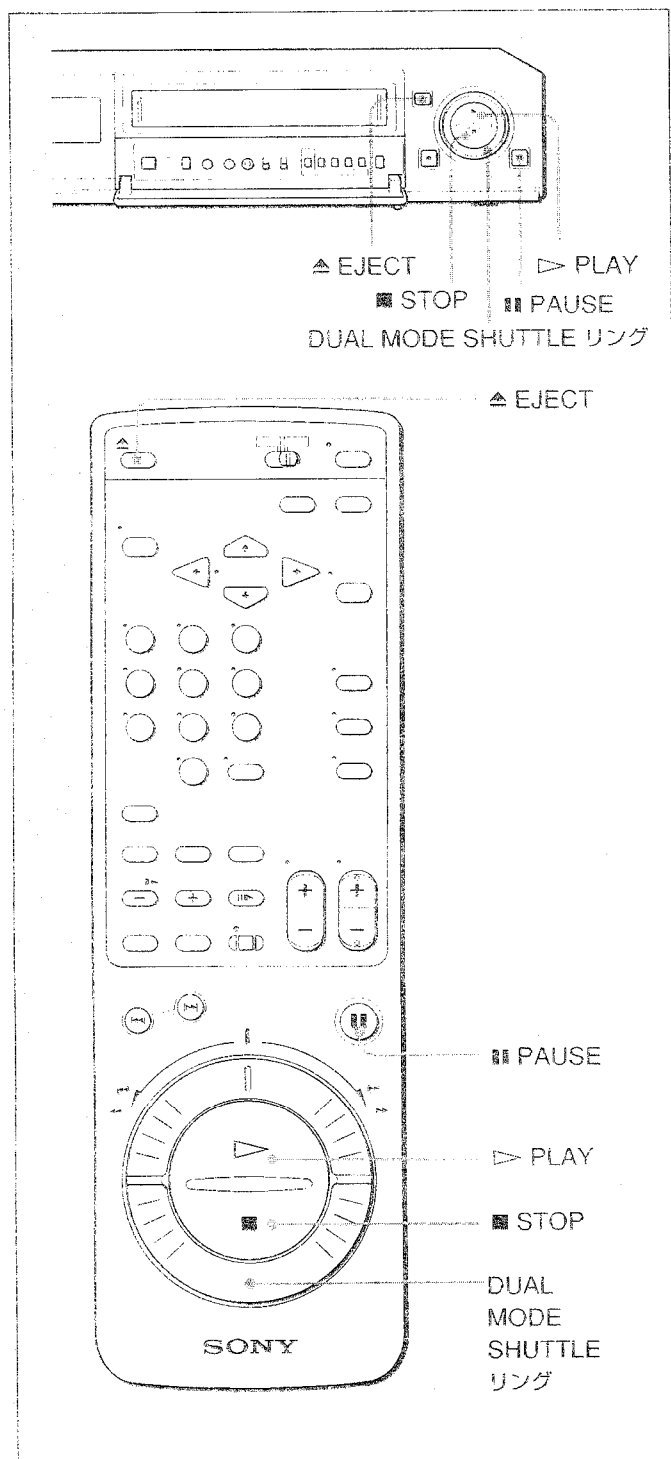
- 5 MENU►(EXECUTE)ボタンを押す。
設定が確定されます。
- 6 MENUボタンを押して、通常の画面に戻す。

ご注意

オーディオミックスが「ON」に設定されている時は、リモコンのAUDIO MONITORボタンは働きません。

基本的な再生のしかた

ここでは、基本的な再生のしかたを説明します。



1 使用する機器の電源を入れる。

2 カセットを入れる。

本機の電源が自動的に入ります。

テープの装着チェック (THREAD CHECK) が「ON」に設定されている場合は、表示窓のカセット表示が約5秒間点滅し、テープが正常に装着されたかどうかをチェックします。

◆ 詳しくは、「テープの装着状態をチェックする」(42ページ)をご覧ください。

3 ▷ PLAYボタンを押す。

再生が始まります。

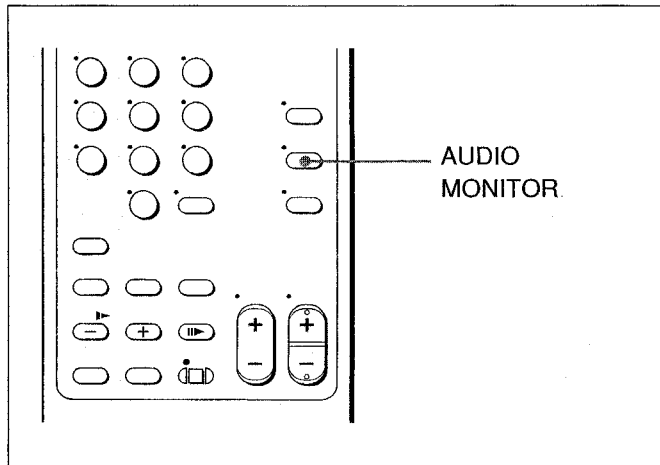
テープの終わりまで再生されると、自動的に初めまで巻き戻されて止まります。電源は入ったままです。

こんなときは	操作
再生を止めるには	■ STOPボタンを押す。
一時的に再生を止めるには	■ PAUSEボタンを押す。
再び再生を始めるには	■ PAUSEボタンまたは▷ PLAYボタンを押す。
再生一時停止状態が5分以上たつと自動的に再生に戻る	
テープを巻き戻すには	■ STOPボタンを押してから、DUAL MODE SHUTTLE (DMS) リングを左いっぱい (◀◀ REW)に回す。
テープを早送りするには	■ STOPボタンを押してから、DMSリングを右いっぱい (▶▶ FF)に回す。
画像を見ながら巻き戻すには	再生中にDMSリングを左(◀)へ回す。手を離すと再生に戻る。
画像を見ながら早送りするには	再生中にDMSリングを右(▶)へ回す。手を離すと再生に戻る。
カセットを取り出すには	▲ EJECTボタンを押す。

◆ このほかにいろいろな再生ができます。詳しくは、「スピードを変えて再生する」(32ページ)をご覧ください。

ハイファイ記録したテープを再生するには

ステレオ放送や二重音声放送を記録したテープの音声を選んで再生することができます。



AUDIO MONITORボタンを押す。

押すたびに音声が次のように変わり、表示窓に選んだ音声が表示されます。

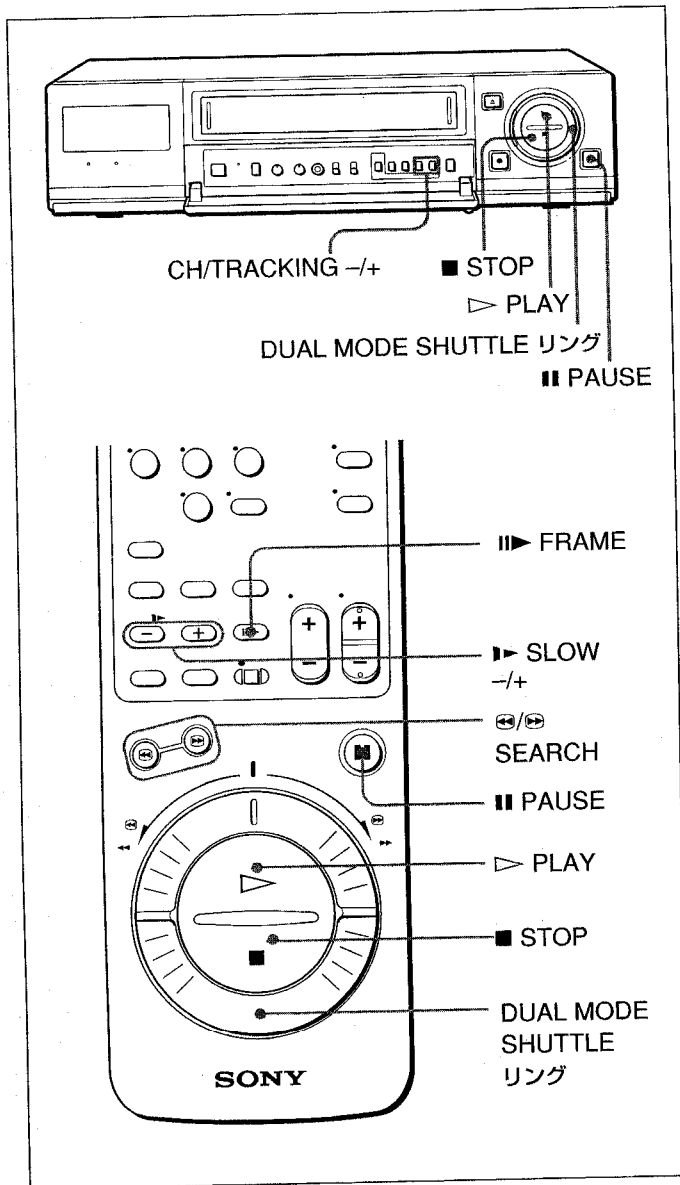
表示	聞こえる音声	
	ステレオ番組	二重音声番組
STEREO	ステレオ	主音声 (左スピーカー) 副音声 (右スピーカー)
MAIN/L	左チャンネル	主音声
SUB/R	右チャンネル	副音声
表示なし	ノーマル音声 (モノラル)	ノーマル音声 (主音声)

ご注意

- 音声モノラルのビデオで記録したテープを再生しているときは、AUDIO MONITORボタンを押しても表示、音声とも切り換わりません。聞こえる音声は常にノーマル音声です。
- [SET UP1] メニューで「AUDIO MIX」が「ON」に設定されているときは、AUDIO MONITORボタンは働きません。ノーマル音声とハイファイ音声と同時に聞こえます。

スピードを変えて再生する

通常の再生のほかに、いろいろなテープスピードで再生画像を見ることができます。再生中に見たい場面をさがすときなど便利です。音声は聞こえません。



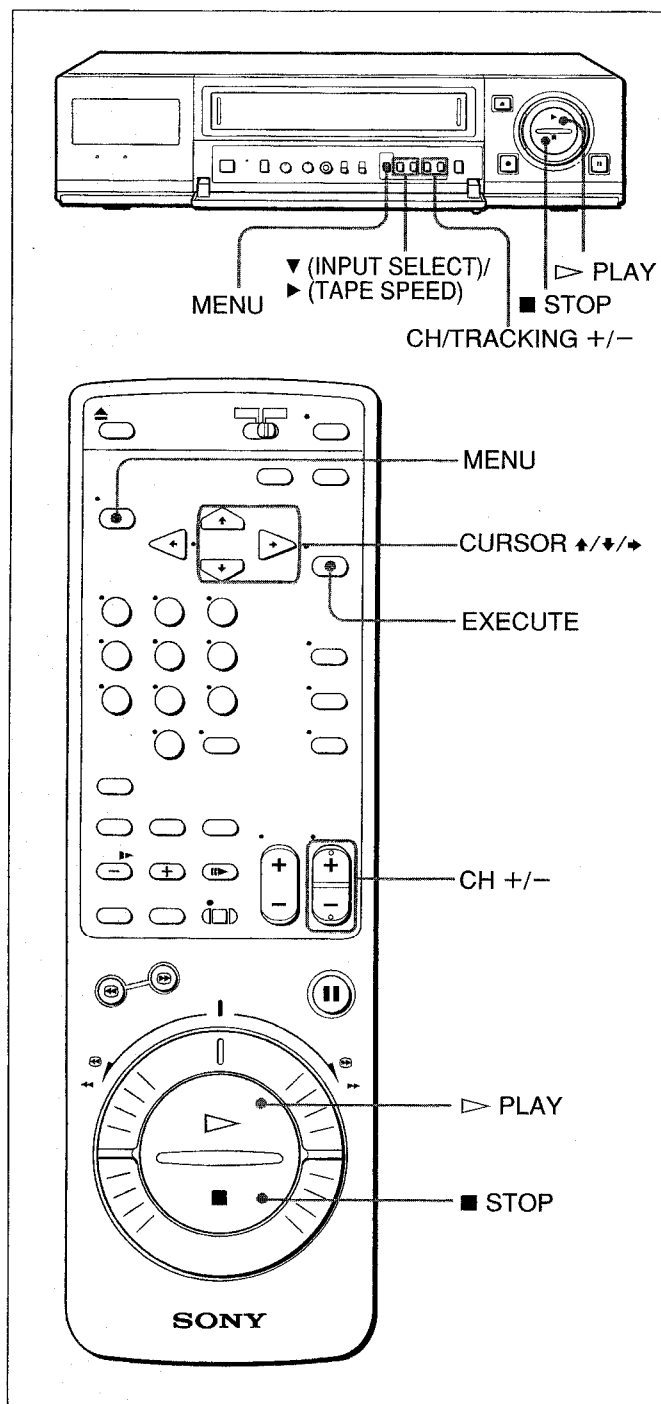
こんなときは	操作
いろいろなスピードで見る	再生中に DUAL MODE SHUTTLE リングを右（正方向）または左（逆方向へ、リング上の下記の表示まで回す。 1/5: 通常の1/5のスロー再生 X1: 1倍速 X2: 2倍速 ⏮ または ⏭: 高速再生 ▶ 通常の再生に戻すには、リングから手を離す。
高速で再生する （固定ピクチャーサーチ）	再生または再生一時停止中にリモコンの SEARCH ⏮ または ⏭ ボタンを1回押す。 ▶ 通常の再生に戻すには、▶ PLAY ボタンを押す。
スロー再生する	再生中または再生一時停止中に、リモコンの ▶ SLOW ボタンの+または-を押す。スロー再生のスピードを変えるには、+（速く）または-（遅く） ボタンを押す。 ▶ 通常の再生に戻すには、▶ PLAY ボタンを押す。
静止画を見る	再生中に PAUSE ボタンを押す。 ▶ 通常の再生に戻すには、▶ PLAY ボタンを押す。
コマ送りする	再生一時停止中に FRAME ボタンを押す。押すたびに画像が1コマ先へ進む。 ▶ 通常の再生に戻すには、▶ PLAY ボタンを押す。

ご注意

- 次のようなときは、CH TRACKING -/+ ボタンを押してトラッキングを調整します。
 - － スロー再生中に帯状のチラつきが出る
 - － 静止画が上下に揺れる
- 静止画、スロー再生、高速再生のときは、タイムカウンター/時刻表示は画面上には表示されません。

記録部分の最後まで再生して巻き戻す/繰り返し再生

テープの初めから記録部分の終わりまでを再生し、自動的にテープの初めまで巻き戻して停止することができます（ワンタイム再生）。または、テープの初めから最初の記録部分の終わりまでを、自動的に繰り返して再生できます（オートリピート再生）。



- 1 MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。

CLOCK SET
2 TIMER REC/PLAY SET
3 TUNER PRESET
4 SET UP1
5 SET UP2/USED TIME

- 2 MENU▼(↓) ボタンを押して、SET UP2/USED TIMEの「5」を点滅させ、MENU▶(EXECUTE) ボタンを押す。
[SET UP2] メニューが表示されます。REPEAT PLAY行が点滅しています。

[SET UP2]
REPEAT PLAY OFF
SENSOR REC OFF
POWER ON MODE OFF
REC TAB MODE OFF

FOOT SW LOW ON
[USED TIME]
VIDEO HEAD 00000H

OFF	リピート再生（ワンタイム、オートリピート）をしない。
REPEAT	テープの初めから最初の記録部分の終わりまでを、自動的に繰り返して再生する（オートリピート再生）。
ONE TIME	テープの初めから記録部分の終わりまでを再生し、自動的にテープの初めまで巻き戻して停止する（ワンタイム再生）。

- 3 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して、「REPEAT」（オートリピート再生）または「ONE TIME」（ワンタイム再生）を選ぶ。

[SET UP2]
REPEAT PLAY REPEAT
SENSOR REC OFF
POWER ON MODE OFF
REC TAB MODE OFF

FOOT SW LOW ON
[USED TIME]
VIDEO HEAD 00000H

- 4 MENU▶(EXECUTE) ボタンを押す。
設定が確定されます。
- 5 MENU ボタンを押して、通常の画面に戻す。
- 6 再生したいカセットを入れる。
- 7 テープを初めまで巻き戻す。

(続く)

8 ▷ PLAY ボタンを押す。

- 「ONE TIME」を選んだときは、記録部分の終わりまで再生されると、テープは自動的に初めまで巻き戻され、停止します。再び再生するときはもう一度 ▷ PLAY ボタンを押します。
- 「REPEAT」を選んだときは、最初の記録部分の終わりまで再生されると、テープは自動的に初めまで巻き戻され、同じ記録部分を繰り返し再生します。

再生を止めるには

■ STOP ボタンを押す。

ワントタイム再生／オートリピート再生を解除するには
手順3で「OFF」を選びます。

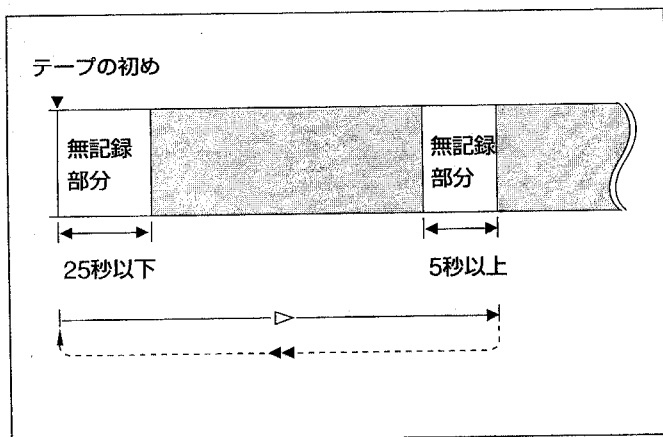
ご注意

- 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ、スロー再生および記録状態からワントタイム再生／オートリピート再生は開始できません。
- 記録部分の終わり近くで ▷ PLAY ボタンを押すと、ワントタイム再生／オートリピート再生機能が正しく働かず、テープが巻き戻されることがあります。この場合は少しテープを巻き戻してから、もう一度 ▷ PLAY ボタンを押してください。

ワントタイム再生／オートリピート再生のできるテープについて
ワントタイム再生／オートリピート再生は、テープの無記録部分を検出することによって働きます。

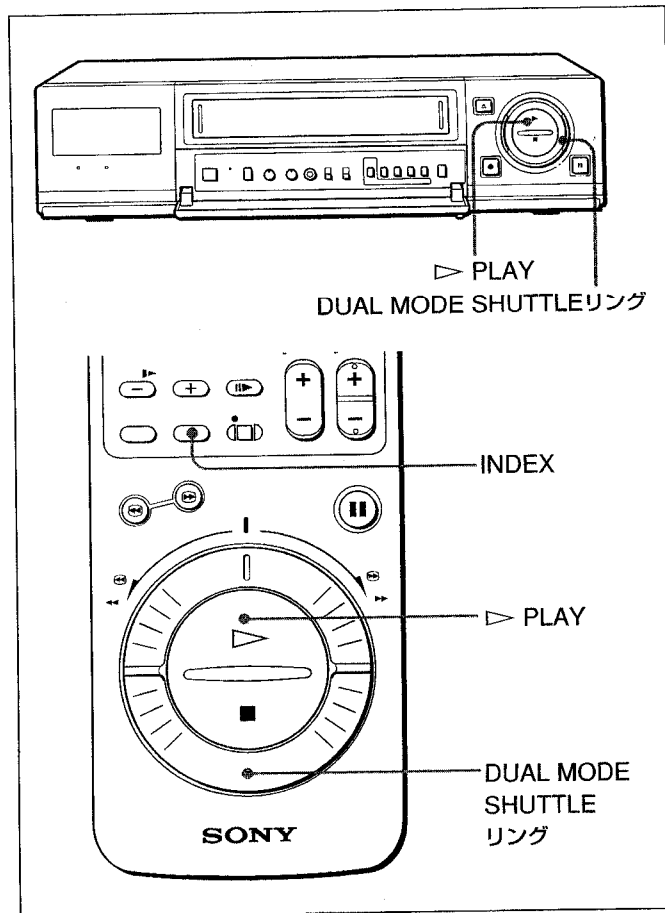
このため、次のようなテープをお使いください。

- テープの最初の無記録部分が25秒以下のもの
- ワントタイム再生／オートリピート再生したい部分の終わりに5秒以上の無記録部分があるテープ（5秒以下だと、次の記録部分も続けて再生されるか、テープの終わりまで再生されます。）



番組の頭から再生する—インデックス再生

記録が始まったとき自動的にテープに書き込まれるインデックス信号を使って、番組の頭を簡単に見つけることができます。（ただし、記録一時停止状態から記録を再開したときは書き込まれません。）



各番組の頭を再生して見たい番組を探す—インデックススキャン

各番組の頭を順に約10秒ずつ再生します。希望の番組が見つかったら、ふつうの再生に切り換えることができます。

1 インデックスが記録されたカセットを入れる。

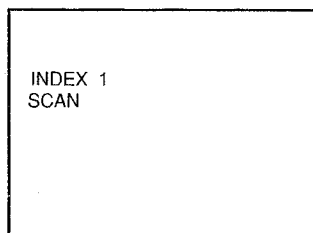
2 INDEX ボタンを1回押す。

表示窓に AUTO 表示が、画面には次の表示が現れます。

INDEX 0
SCAN

3 DUAL MODE SHUTTLEリングを右 (▶▶ FF) または左 (◀◀ REW) へ回す。

- テープの先の方の番組を見るには、右 (▶▶ FF) へ回す。
- テープの前の方の番組を見るには、左 (◀◀ REW) へ回す。



インデックスが記録されている部分まで、早送りまたは巻き戻しされます。インデックスを見つけると、約10秒間再生され、次のインデックスを探します。インデックスが見つかるたびにインデックス番号が1つずつ増えます。

4 見たい番組が見つかったら、▶▶ PLAY ボタンを押す。 ふつうの再生になります。

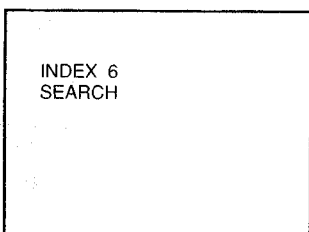
インデックス番号を指定して見たい番組を探すー インデックスサーチ

見たい番組が、現在のテープ位置から何番目のインデックスのところにあるかを指定して、番組を探します。

最高19までインデックスを指定できます。

1 インデックスが記録されたカセットを入れる。

2 INDEXボタンを繰り返し押して、希望の数字を画面上に表示する。

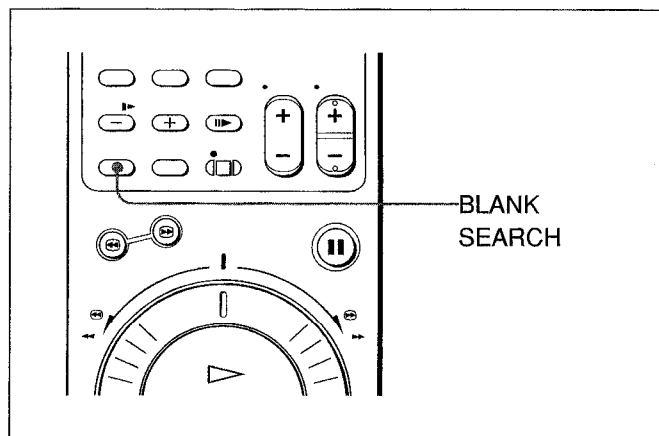


3 DUAL MODE SHUTTLEリングを右 (▶▶ FF) または左 (◀◀ REW) へ回す。

- テープの先の方の番組を探すときは、右 (▶▶ FF) へ回す。
 - テープの前の方の番組を探すときは、左 (◀◀ REW) へ回す。
- インデックスが見つかるたびにインデックス番号が1つずつ減り、「0」になると再生が始まります。

記録部分の最後を探すーブランクサーチ

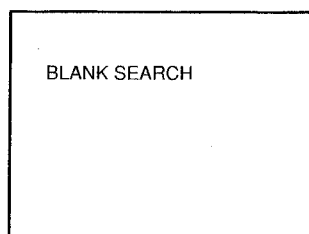
テープの無記録部分を探して停止します。記録済みテープの続きに記録したいときに便利です。



1 カセットを入れる。

2 停止中または再生中に BLANK SEARCH ボタンを押す。

表示窓に AUTO 表示が現れ、画面に「BLANK SEARCH」が表示されます。



テープが早送りされ、無記録部分の頭で自動的に停止します。

ご注意

無記録テープや空白部分がないテープでブランクサーチを行うと、テープの最後まで早送りしたあと、テープの初めまで巻き戻して停止します。

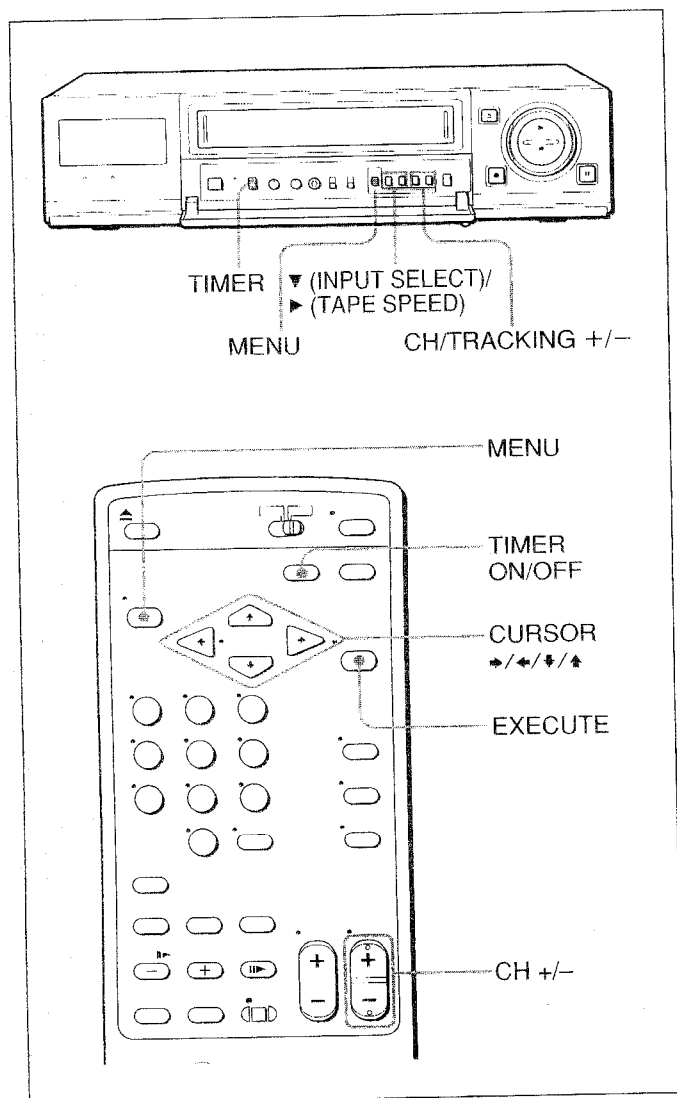
タイマー記録／タイマー再生

タイマー記録／タイマー再生する

ここでは、設定した時刻に記録、またはテープの再生を自動的に開始、終了させる方法を説明します。最大8つの番組を予約できます。

操作の前に

- ・時計を正しく合わせてください。(◆ 18 ページ参照)
- ・使用する機器の電源を入れておいてください。
- ・[SET UP2] メニューで、「SENSOR REC」が「OFF」になっていることを確認してください。



- 1 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。

- 2 MENU▼ (◆) ボタンを押して、TIMER REC/PLAYの「2」を点滅させ、MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
[TIMER REC/PLAY] メニューが表示され、今日の日付が点滅します。

[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
04	---	---	SP
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---

- 3 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して記録または再生を始める日付を合わせる。

[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
10	---	---	SP
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---

ご注意

毎日予約、毎週予約以外は、1ヶ月以内の日付を設定できます。
◆ 毎日または毎週同じ時間帯に記録または再生するには、「毎日／毎週記録・再生」(37 ページ) をご覧ください。

- 4 MENU▶ (◆) ボタンを押して「START」の設定項目を点滅させ、CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンで記録または再生の開始時刻を設定する。
はじめに「時」を設定し、次にMENU▶ (◆) ボタンを押して「分」を点滅させて設定します。

[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
10	13:15	---	SP
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---

- 5 MENU▶ (◆) ボタンを押して「STOP」の設定項目を点滅させ、手順4と同様に、CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンで記録または再生の終了時刻を設定する。

[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
10	13:15	14:00	SP
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---

6 MENU▶(➡) ボタンを押して「MODE」の設定項目を点滅させ、CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンで記録または再生モード、チャンネルを設定する。

- AUDIO/VIDEO IN端子につないだ機器からの信号を記録するときは「AV」を、チューナーで受信している番組を記録するときはチャンネルを表示させる。

[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
10	13:15	14:00	AV SP
10	17:00	18:00	1b SP
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---

- テープの再生を予約するときは「PB」を表示させる。

[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
10	13:15	14:00	PB
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---

7 MENU▶(➡) ボタンを押し、CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンで記録時間 (SPまたはEP) を設定する。

- ◆ 記録時間について詳しくは、25ページをご覧ください。

ご注意

タイマー再生の場合は、記録時間は設定できません。

[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
10	13:15	14:00	AV EP
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---
---	---	---	---

続けて予約するときは、MENU▼(▼) ボタンを押して次の日の日付を点滅させ、手順3～7を繰り返します。

途中で間違えたときは、MENU▼/▶ (CURSOR ◀/▶/▲/▼) ボタンを押して変えたい項目を点滅させ、CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンで合わせ直します。

8 設定が終わったら、MENUボタンを押して、通常の画面に戻す。

9 TIMER (TIMER ON/OFF) ボタンを押す。

表示窓にTIMER表示が現われ、本機の電源が切れてタイマー記録または再生待機状態になります。

設定した時刻の15秒前に本機の電源が自動的に入り、記録または再生が始まります。

ご注意

- 開始時刻を5分以内に設定すると、TIMER表示が点滅します。
- 誤消去防止用のツメが折れているカセットを入れると、タイマー記録開始時刻になるとカセットが出てきてしまいます。別のカセットを入れるか、ツメを折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。なお、[SET UP2] メニューで「REC TAB MODE」を「ON」に設定すると、ツメが折れているカセットでも記録することができます。◆ 詳しくは、「ツメの折れたカセットに記録する」(27ページ)をご覧ください。
- カセットが入っていないと、TIMER (TIMER ON/OFF) ボタンを押してもTIMER表示は出ません。

タイマー記録/再生を止めるには

記録または再生中に中止するときは、TIMER (TIMER ON/OFF) ボタンを押してTIMER表示を消します。

ご注意

- タイマー再生はワンタイム/オートリピート再生と同時に使用することができます。
- [SET UP2] メニューの「SENSOR REC」が「ON」に設定されているときはタイマー記録/再生はできません。
- タイマー記録/再生中に停電になり、終了時間内に復帰したときは記録/再生が再開されます。
- タイマー記録/再生待機中に停電があってもこの予約は有効です。復帰したとき、予約時間内であれば、直ちに記録/再生が始まります。

毎日/毎週記録・再生

毎日または毎週同じ時間帯に、記録または再生を予約することができます。36ページの手順3で、CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して「DATE」の項目に希望の日付を表示させます。CH/TRACKING - (CH-) ボタンを押すたびに日付が次のように変わります。

4(予約日)→SAT(毎週土)→FRI(毎週金)→THU(毎週木)→WED(毎週水)→TUE(毎週火)→MON(毎週月)→SUN(毎週日)→MO-FR(月～金)→MO-SA(月～土)→MO-SU(毎日)

記録または再生待機中に本機を使うときは

TIMER (TIMER ON/OFF) ボタンを押してTIMER表示を消し、POWERボタンを押します。使用後は、TIMER (TIMER ON/OFF) ボタンを押して表示窓にTIMER表示を出しておきます。

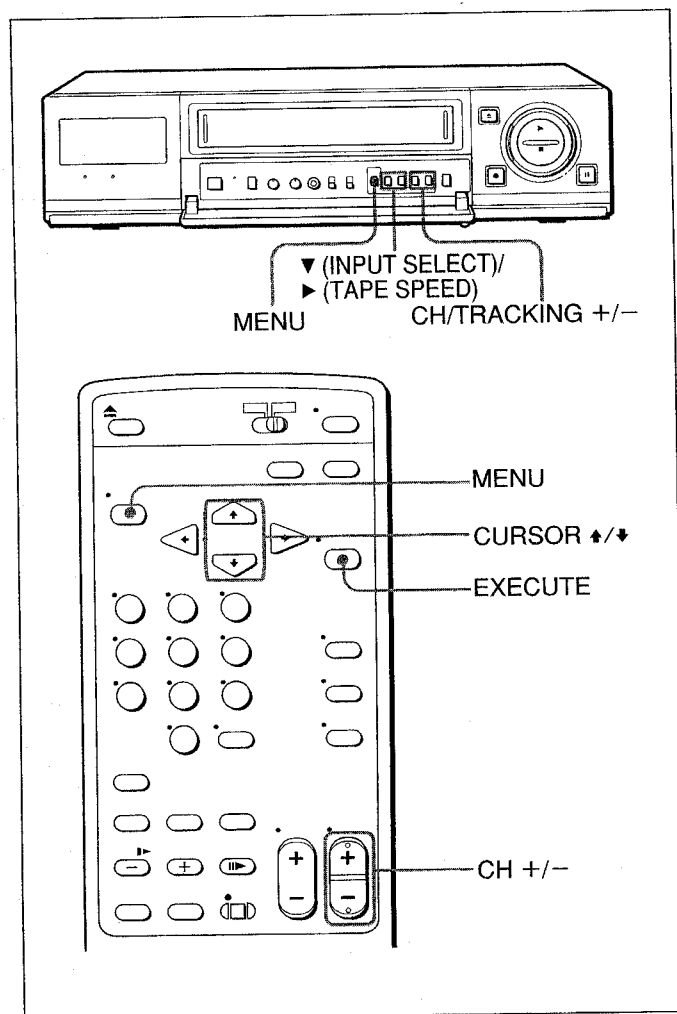
ピーツという音がしたら

次のような場合警告音が鳴ります。

- タイマー記録/再生の設定をしていないとき、またはカセットを入れないでTIMER (TIMER ON/OFF) ボタンを押したとき
- タイマー記録/再生中に設定を変えようとしたとき
- タイマー記録中に時計の設定をし直そうとしたとき
- 時計を合わせずにタイマー記録を設定しようとしたとき

タイマー再生後のテープ動作を設定する

タイマー再生が終了した後のテープの動作モードを設定することができます。



- 1 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼(▼)ボタンを押して、SET UP1の「4」を点滅させ、MENU▶(EXECUTE)ボタンを押す。
[SET UP1]メニューが表示されます。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

- 3 MENU▼(▼)ボタンを押して、TIMER PB END行を点滅させる。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

REW 再生終了時刻に再生が終わると、自動的にテープの始めまで巻き戻し、電源が切れる。

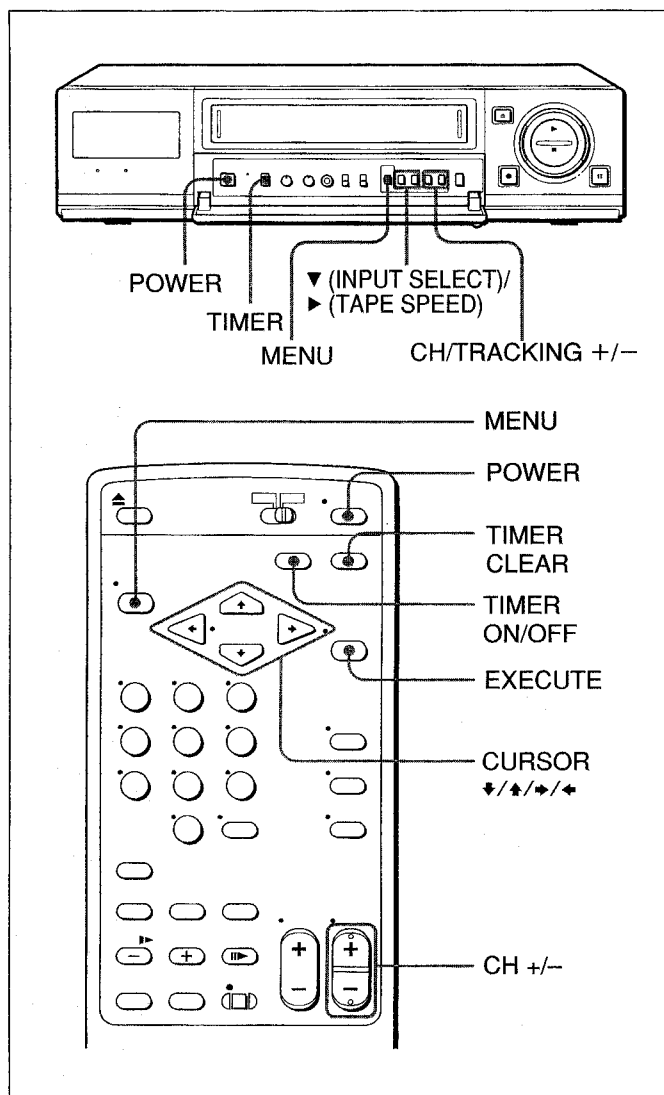
STOP 再生終了後すぐに電源が切れる。

- 4 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して「REW」または「STOP」を選ぶ。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	STOP
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

- 5 MENU▶(EXECUTE)ボタンを押す。
設定が確定されます。
- 6 MENUボタンを押して、通常の画面に戻す。

タイマー記録または再生の予約内容を確認する／変更する／取り消す



- 1 TIMER (TIMER ON/OFF) ボタンを押して表示窓のTIMER表示を消す。
- 2 本機の電源を入れる。
- 3 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。

- 4 MENU▼ (▼) ボタンを押して、TIMER REC/PLAYの「2」を点滅させ、MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
[TIMER REC/PLAY] メニューが表示されます。

[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
10	13:15	14:00	PB
MON	02:00	03:00	AV SP
04	11:00	11:50	AV EP
MO-SA	09:00	10:30	PB
15	11:00	12:00	10 SP
--	--	--	--
--	--	--	--
--	--	--	--

ここで予約内容を確認できます。

内容の変更・取り消しがない場合は、手順6を行ってください。
変更・取り消しをする場合は、手順5、6を行います。

5 変更するとき

MENU▼/▶ (CURSOR ◀/▶/▲/▼) ボタンを押して変更したい項目を点滅させ、CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンで変更する。

[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
10	13:15	14:00	PB
MON	02:00	03:00	AV SP
04	11:00	11:50	AV EP
MO-SA	09:00	10:30	PB
15	11:00	12:00	10 SP
--	--	--	--
--	--	--	--
--	--	--	--

取り消すとき

MENU▼/▶ (CURSOR ◀/▶/▲/▼) ボタンを押して取り消したいプログラムのいずれかの項目を点滅させ、リモコンのTIMER CLEARボタンを押す。

[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
10	13:15	14:00	PB
MON	02:00	03:00	AV SP
04	--	--	SP
MO-SA	09:00	10:30	PB
15	11:00	12:00	10 SP
--	--	--	--
--	--	--	--
--	--	--	--

取り消した行

- 6 MENUボタンを押して、通常の画面に戻す。
まだ予約が残っている場合は、TIMER (TIMER ON/OFF) ボタンを押してTIMER表示を表示させ、タイマー記録または再生待機状態にします。

タイマー記録または再生中に内容を確認するには

- 1 MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼(▼) ボタンを押して、TIMER REC/PLAYの「2」を点滅させ、MENU▶(EXECUTE) ボタンを押す。
[TIMER REC/PLAY] メニューが表示されます。

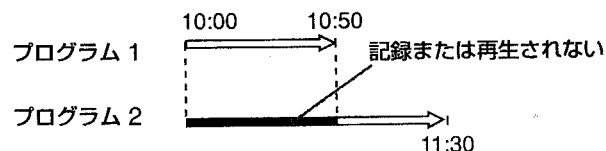
[TIMER REC/PLAY]			
DATE	START	STOP	MODE
10	13:15	14:00	PB
MON	02:00	03:00	AV SP
04	11:00	11:50	AV EP
MO-SA	09:00	10:30	PB
15	11:00	12:00	10 SP
--	--	--	--
--	--	--	--
--	--	--	--

- 3 内容を確認したら、MENU ボタンを押して、通常の画面に戻す。

タイマー予約が重なると

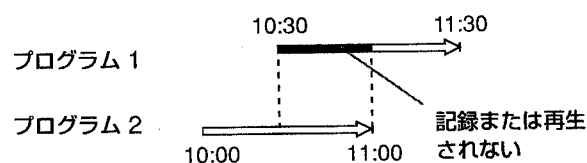
例1：開始時刻が同じ場合

[TIMER REC/PLAY] メニューの上にある方のプログラムが記録または再生されます。そのプログラムが終了したあと、下にあるプログラムが始まります。



例2：予約時間が重なっている場合

開始時刻の早いプログラムが予約どおりに記録または再生され、終了後に開始時刻の遅いプログラムが途中から始まります。



ご注意

本機は、設定した開始時刻の15秒前に記録が始まります。

メモリーバックアップ機能

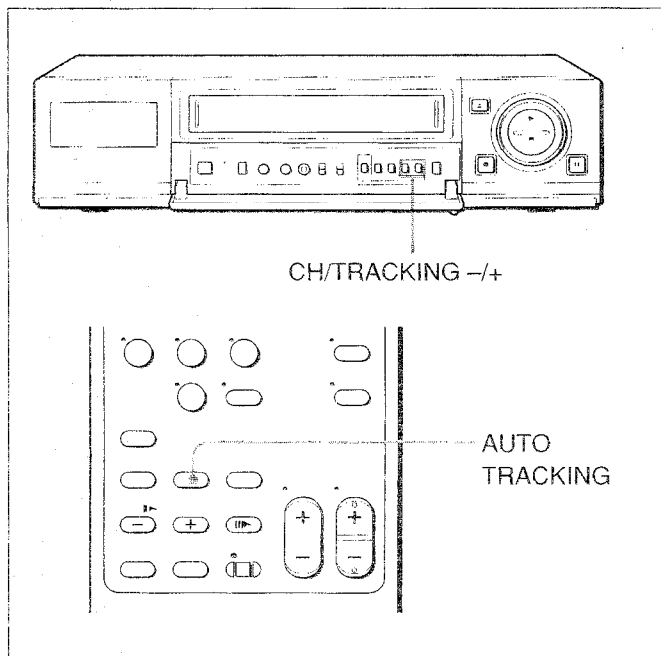
本機は、内蔵の充電式バッテリーによるメモリーバックアップ機能を備えています。停電があった場合でも設定した内容は約30日間保持されます。

画像を調整する

画像のチラつきを調整する—トラッキング

本機には、テープ再生時のトラッキングのずれを自動的に調整するオートトラッキング機能が内蔵されています。

オートトラッキング機能で画像を調整中は、表示窓にAUTO TRACKING表示が点滅します。調整が終わると、点滅が点灯に変わります。



オートトラッキングで調整ができないときは

テープの状態が悪く画面にノイズが出たり、白くチラつくときは、手動でトラッキング調整をする必要があります。本体のCH/TRACKING +/-を押して、最もきれいな画像になるよう調整してください。(AUTO TRACKING表示は消えます。)

再びオートトラッキングを働かせるときは

リモコンのAUTO TRACKINGボタンを押します。または本体のCH/TRACKINGボタンの+と-を同時に押します。

テープに合わせて画質をよくする—APC

テープとヘッドの状態を自動的に判断して最適な画質で再生または記録ができます。レンタルビデオや本機以外のビデオで記録したテープもきれいに見ることができます。通常は[SET UP1]メニューで「APC」を「ON」にしてお使いください。

- 1 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼(↓)ボタンを押して、SET UP1の「4」を点滅させ、MENU▶(EXECUTE)ボタンを押す。
[SET UP1]メニューが表示されます。
- 3 MENU▼(↓)ボタンを押して、APC行を点滅させる。

[SET UP1]		
S-VHS		ON
TIMER PB END	REW	
APC	ON	←
DISPLAY	OFF	
THREAD CHECK	OFF	
AUDIO MIX	OFF	
WIRELESS	ON	
BAUD RATE	19200	

ON	再生時と記録時にAPC (Adaptive Picture Control) 機能が働き、画質を調整する
OFF	APC機能は働かない

- 4 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して「ON」または「OFF」を選ぶ。
最適な画質での記録、再生のために、通常は「ON」にしてお使いください。
- 5 MENU▶(EXECUTE)ボタンを押す。
設定が確定されます。
- 6 MENUボタンを押して、通常の画面に戻す。

再生時にAPCが働くと

カセットを挿入して再生を始めると、自動的にAPCが働いてよりきれいな画質で再生ができます。

記録時にAPCが働くと

カセットを挿入して記録を始めると、自動的にAPCが働いてよりきれいな画質で記録ができます。

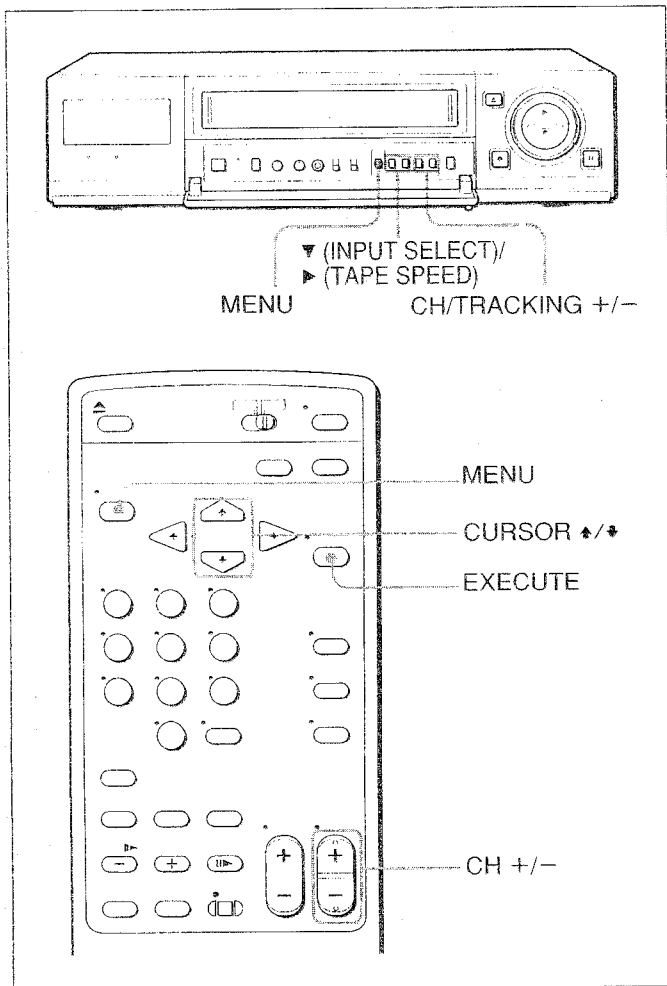
APCはカセットを取り出すまで働きます。APC動作中は、● RECボタンを押してから記録が始まるまで約6秒かかります。

動作モードを設定する

テープの装着状態をチェックする

カセットを挿入したとき、テープが正常にドラムに装着されたかを自動的にチェックすることができます。このとき、約5秒間表示窓のカセット表示が点滅し、チェックを行います。

テープの装着が正常でない場合は、自動的にカセットが出てきます。



1 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。

2 MENU▼ (▼) ボタンを押して、SET UP1の「4」を点滅させ、MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
[SET UP1] メニューが表示されます。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

3 MENU▼ (▼) ボタンを押して、THREAD CHECK行を点滅させる。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

ON カセットを挿入したとき、テープが正常にドラムに装着されたかを自動的にチェックする。

OFF 装着チェックは働かない

4 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して「ON」を選ぶ。

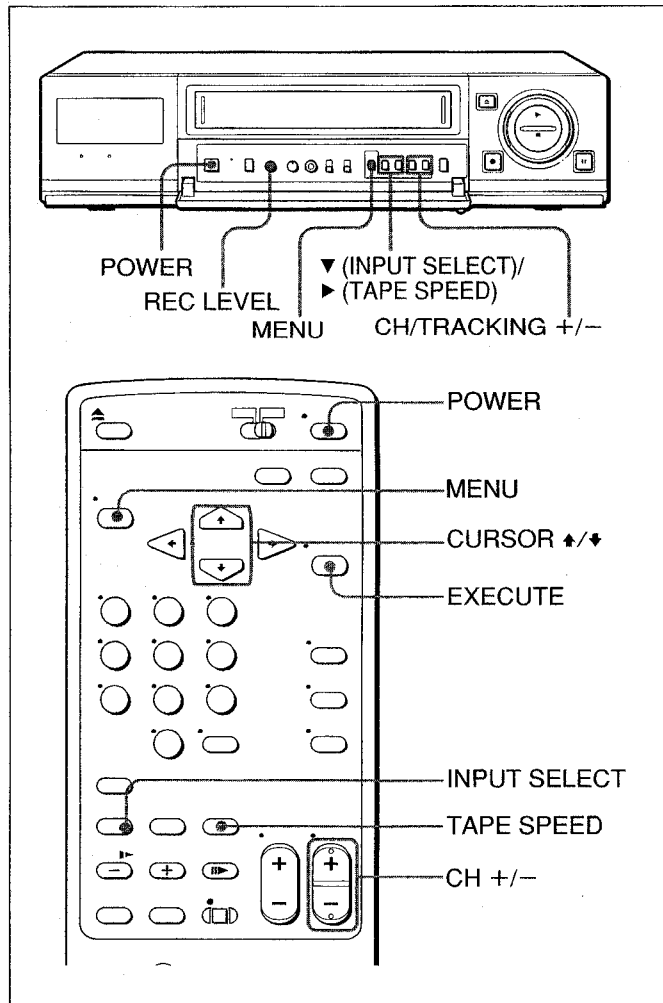
[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	ON
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

5 MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
設定が確定されます。

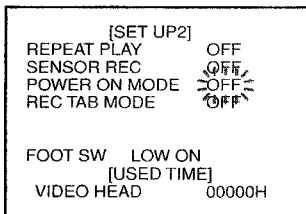
6 MENUボタンを押して、通常の画面に戻す。

電源を入れたときの動作モードを選ぶ

電源投入時の動作モードを設定することにより、電源を入れたと同時に記録や再生を開始することができます。

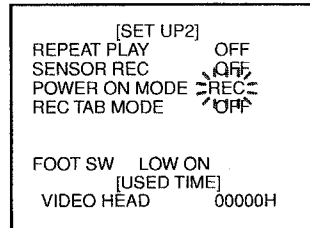


- 1 MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼(↓) ボタンを押して、SET UP2/USED TIMEの「5」を点滅させ、MENU▶(EXECUTE) ボタンを押す。
[SET UP2] メニューが表示されます。
- 3 MENU▼(↓) ボタンを押して、POWER ON MODE行を点滅させる。



OFF	通常の電源が入った状態で、カセットを入れても停止状態になる。
REC	電源が入ったと同時に記録を開始する。
PLAY	電源が入ったと同時に再生を開始する。

- 4 CH/TRACKING +または-(CH +/-) ボタンを押して、設定したい動作モードを表示する。



- 5 MENU▶(EXECUTE) ボタンを押す。
設定が確定されます。
- 6 MENU ボタンを押して、通常の画面に戻す。
- 7 カセットを入れる。
記録する場合は、誤消去防止用のツメが折れていないカセットを入れてください。
- 8 記録する場合は、TAPE SPEEDスイッチで記録時間(SPまたはEP)を選ぶ。
- 9 記録する場合は、REC LEVELつまみが中央の位置にあることを確認する。
- 10 本機の電源を切る。
 - ・「REC」を選んだときは、次回電源を入れると同時に録画が開始されます。
 - ・「PLAY」を選んだときは、次回電源を入れると同時に再生が開始されます。

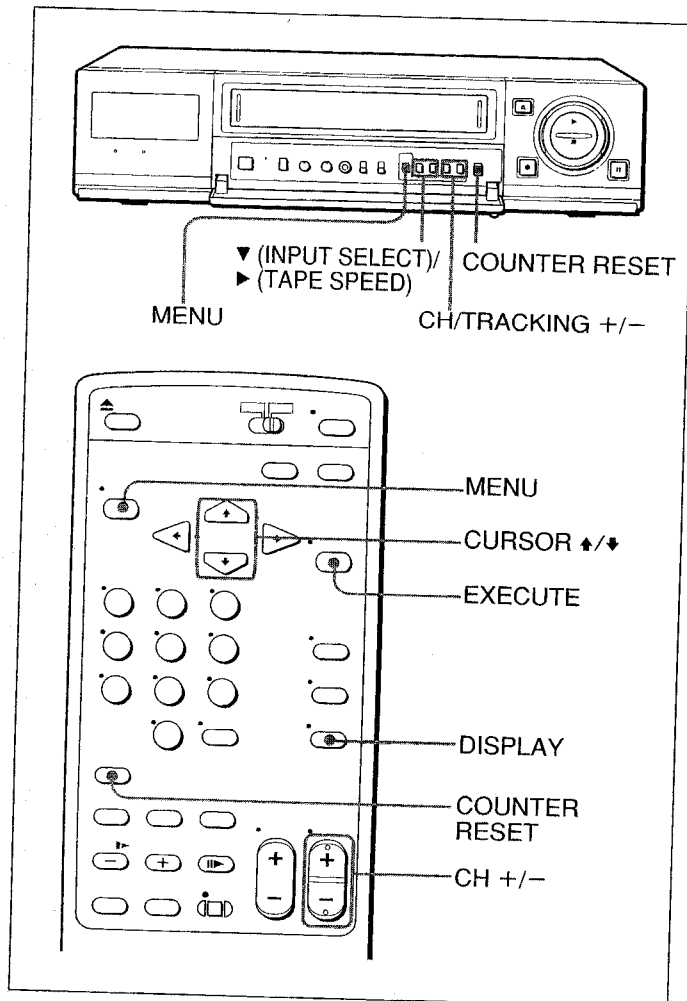
ご注意

「REC」を選んだ場合、誤消去防止用のツメが折れているカセットを入れると、電源を切ったとき、カセットが出てきます。別のカセットを入れるか、ツメを折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。なお、[SET UP2] メニューで「REC TAB MODE」を「ON」にすると、ツメが折れているカセットでも記録することができます。

◆ 詳しくは、「ツメの折れたカセットに記録する」(27ページ)をご覧ください。

現在時刻やタイムカウンターを画面に出す

表示窓にはタイムカウンターと現在時刻が出ていますが、画面上にもタイムカウンターまたは現在時刻のいずれかを表示させることができます。



- 1 MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼ (↓) ボタンを押して、SET UP1 の「4」を点滅させ、MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
[SET UP1] メニューが表示されます。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

- 3 MENU▼ (↓) ボタンを押して、DISPLAY 行を点滅させる。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

- ON タイムカウンターまたは現在時刻を画面上に表示する。
(表示はリモコンの DISPLAY ボタンで切り換えます。)
- OFF タイムカウンターまたは現在時刻を画面上に表示しない。

- 4 CH/TRACKING + または - (CH +/-) ボタンを押して「ON」または「OFF」を選ぶ。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	ON
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

- 5 MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
設定が確定されます。

- 6 MENU ボタンを押して、通常の画面に戻す。

タイムカウンターを使うには

リモコンの DISPLAY ボタンを押すと、画面上のタイムカウンター表示と時刻表示が切り換わります。タイムカウンターを使うと、再生時の検索が簡単です。

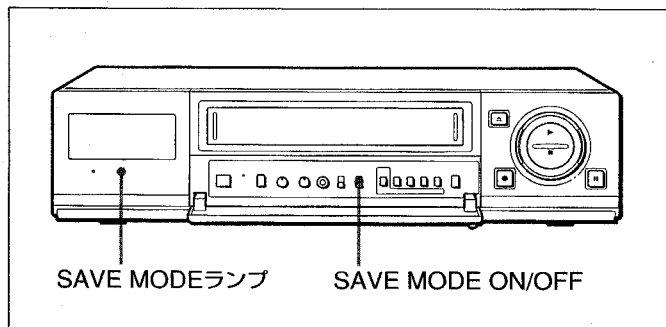
後で探したい場所を記録または再生しているとき、リモコンの COUNTER RESET ボタンを押して、カウンターを「0H00M00S」に戻します。記録または再生後、早送りや巻き戻しをして、カウンターが「0H00M00S」になるところでテープを止めます。

ご注意

- 本機にカセットを入れると、カウンターは自動的に「0H00M00S」に戻ります。
- カウンターはテープの記録されていない部分では働きません。
- 表示窓のリニアタイムカウンターも同様に使えます。

表示窓の表示を消す(省電力モード)

表示窓の表示を消して、省電力モードで動作させることができます。



本体のSAVE MODEスイッチを「ON」に合わせる。
表示窓の表示が消え、SAVE MODEランプが点灯し、本機は省電力モードになります。省電力モードを解除し、表示窓に表示を出すには、SAVE MODEスイッチを「OFF」に合わせます。

リモコンからの操作を無効にする

付属のリモコンからの操作を受け付けないように設定することができます。

- 1 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼(▼)ボタンを押して、SET UP1の「4」を点滅させ、MENU▶(EXECUTE)ボタンを押す。
[SET UP1]メニューが表示されます。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

- 3 MENU▼(▼)ボタンを押して、WIRELESS行を点滅させる。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

ON 付属のリモコンで本機が操作できる。

OFF 付属のリモコンで本機が操作できなくなる。

- 4 CH/TRACKING +または- (CH + / -) ボタンを押して「OFF」を選ぶ。

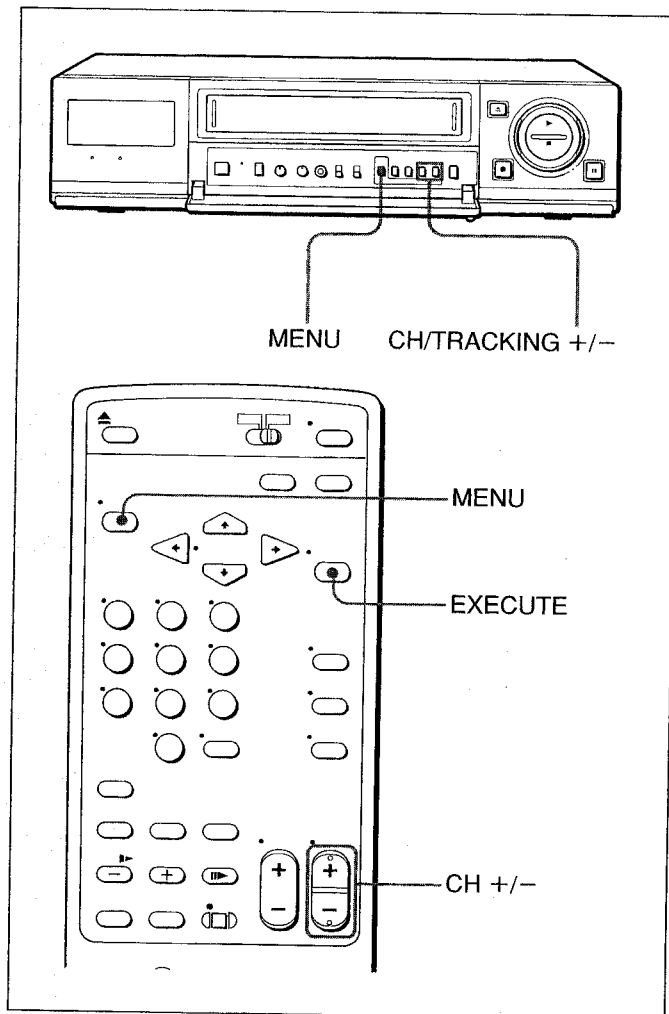
[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	OFF
BAUD RATE	19200

- 5 MENU▶(EXECUTE)ボタンを押す。
設定が確定されます。

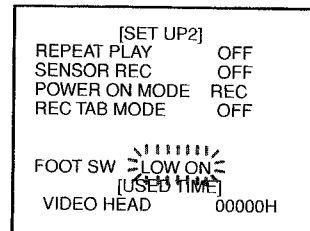
- 6 MENUボタンを押して、通常の画面に戻る。

他の機器で本機を操作する (FOOT SW/TALLY端子を利用する場合)

後面のFOOT SW/TALLY端子に接続したフットスイッチ FS-20 (別売り) などから本機をコントロールすることができます。



- 1 MENUボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼(▼) ボタンを押して、SET UP2/USED TIMEの「5」を点滅させ、MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
[SET UP2] メニューが表示されます。
- 3 MENU▼(▼) ボタンを押して、FOOT SW 行を点滅させる。



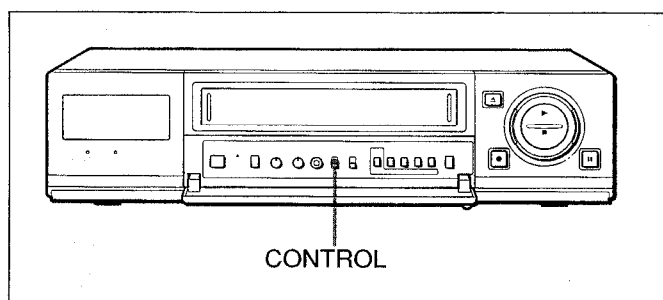
LOW ON	LOWでREC (記録)、HIGHでREC PAUSE (記録一時停止)
LOW EDGE TRIG	LOW EDGEで動作する。
HIGH EDGE TRIG	HIGH EDGEで動作する。

- 4 CH/TRACKING +または- (CH +/-) ボタンを押して、設定したい動作モードを表示する。
- 5 MENU▶ (EXECUTE) ボタンを押す。
設定が確定されます。
- 6 MENUボタンを押して、通常の画面に戻る。

他の機器で本機を操作する (RS-232C 端子を利用する場合)

CONTROL 切換スイッチを切り換える

使用する機器や使用状況に応じて、CONTROL 切換スイッチの位置を切り換えます。後面の RS-232C 端子に接続したコンピューターから本機をコントロールする場合は、CONTROL 切換スイッチの位置を「RMT」(リモート) にします。



位置	動作モード
LOCAL	本体の前面のボタン、付属のワイヤレスリモコン RMT-190A の操作を受け付けます。同時に、後面の CTLS IN/OUT (コントロール S 入力/出力) 端子に接続した別売りのリモートコントロールユニット RM-V200 や SVRM-100A から本機をコントロールすることもできます。
RMT	後面の RS-232C 端子に接続したコンピューター、または CTLS IN/OUT (コントロール S 入力/出力) 端子に接続した別売りのリモートコントロールユニット RM-V200 や SVRM-100A から本機をコントロールすることができます。本体の前面のボタン、付属のワイヤレスリモコン RMT-190A の操作は受け付けません。

コンピューターとのデータ通信速度を設定する

RS-232C 端子に接続したコンピューターから操作するには、コンピューターの仕様に合ったデータ通信速度を設定する必要があります。

◆ RS-232C 端子のピン割り当て、データ形式、コマンドについては、「RS-232C インターフェース」(47 ページ) をご覧ください。

- 1 MENU ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 MENU▼ (↓) ボタンを押して、SET UP1 の「4」を点滅させ、MENU► (EXECUTE) ボタンを押す。
[SET UP1] メニューが表示されます。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

- 3 MENU▼ (↓) ボタンを押して、BAUD RATE の設定項目を点滅させる。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	19200

- 4 CH/TRACKING + または - (CH + / -) ボタンを押してデータ通信速度を選ぶ。
19200、2400、4800、9600 から選べます。

[SET UP1]	
S-VHS	ON
TIMER PB END	REW
APC	ON
DISPLAY	OFF
THREAD CHECK	OFF
AUDIO MIX	OFF
WIRELESS	ON
BAUD RATE	9600

- 5 MENU► (EXECUTE) ボタンを押す。
設定が確定されます。
- 6 MENU ボタンを押して、通常の画面に戻す。

■ DEVICE TYPE REQUEST (8FH)

機能：コンピュータで制御する装置（デバイスタイプ）を要求します。

解説：このコマンドを受信すると、被制御装置は1バイトコードを返します。SVO-2500の返すコードは次のとおりです。

ビット7	ビット6	ビット5	ビット4	ビット3	ビット2	ビット1	ビット0
1	0	0	0	1	0	0	1

■ + (A1H)

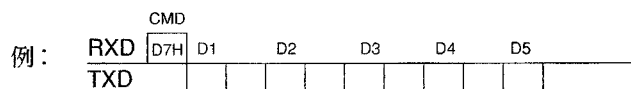
機能：+符号を示します。CTLデータの先頭に付加します。

■ - (A2H)

機能：-符号を示します。CTLデータの先頭に付加します。

■ STATUS SENSE (D7H)

機能：RMT/LOCALスイッチの設定にかかわらず、ステータスを5バイトで返すようにVTRに要求します。



解説：データの各ビットの割り当ては次の通りです。

第1バイト

- BIT 0: ERROR; 0
1: 未定義; 0
2: SERVO LOCK; 0
3: CASSETTE OUT; 1=カセットアウト時
4: 録画 INHIBIT; 1=記録禁止のカセットテープが入っているとき
5: 未定義; 0
6: 未定義; 0
7: 未定義; 1

第2バイト

- BIT 0: TAPE END; 1=TAPE END 検出中
1: TAPE TOP; 1=TAPE TOP 検出後、動作コマンドを受信するまで
2: DEW; 1=結露検出時
3: 未定義; 0
4: 未定義; 0
5: 未定義; 0
6: 未定義; 0
7: VIDEO EE MODE; 1=カセットアウト、スタンバイ、停止、記録一時停止、記録、早送り、巻き戻し時

第3バイト

- BIT 0: 未定義; 0
1: SEARCH MODE; 0
2: 未定義; 0
3: 未定義; 0
4: 未定義; 1
5: 未定義; 0
6: 未定義; 0
7: 未定義; 0

第4バイト

- BIT 0: オーディオダビング MODE; 1=オーディオダビングまたはオーディオダビング一時停止時
1: 録画 MODE; 1=録画または録画一時停止時
2: EJECT; 1=カセットテープ排出時
3: STAND BY LAMP; 1=LOADING/UNLOADING
4: STOP MODE; 1=停止およびスタンバイ時
5: 巻戻し MODE; 1=巻き戻し中
6: 早送り MODE; 1=早送信中
7: 再生 MODE; 1=デュアルモードシャトル操作時以外

第5バイト

- BIT 0~3ビット: SHUTTLE FWD/REV時のスピードを表します。

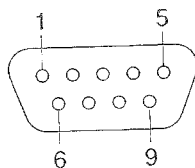
bit 3	bit 2	bit 1	bit 0	
0	0	0	0	STILL MODE; 再生一時停止および録画一時停止状態です。
0	0	0	1	±X 1/30のスロー再生状態です。
0	0	1	0	±X 1/10のスロー再生状態です。
0	0	1	1	±X 1/5のスロー再生状態です。
0	1	0	1	1倍速の再生、逆方向再生状態です。
0	1	1	0	±2倍速の再生状態です。
0	1	1	1	CUE/REV MODE; 高速再生中です。(EPモードは15倍、SPモードは5倍)

- 4: REVIEW MODE; 1=巻き戻し再生中
5: CUE MODE; 1=早送り再生中
6: TENSION RELEASE; 0
7: PAUSE MODE; 1=一時停止中（記録一時停止、オーディオダビング一時停止、コマ送り、逆方向コマ送り）

RS-232Cインターフェース

ピン割り当て

RS-232C端子 (9ピンD-sub型)



ピン番号	信号	動作	信号の方向
2	RXD	受信データ	VTR ← コンピューター
3	TXD	送信データ	VTR → コンピューター
7	RTS	通信可能	VTR → コンピューター
5	GND	信号接地	

データ形式

データフォーマットは、次の通りです。

モード	非同期
キャラクター長	8ビット
データ伝送速度	2400、4800、9600、19200
パリティチェック	なし
ストップビット	1ビット

データ伝送速度のみ [SET UP1] メニューで設定することができます。

通信プロトコル

通信は1バイト単位で行います。コンピューターが1バイト送信した後、ビデオから返ってくる返答を持って次のバイトを送信します。

ビデオの返答の中には、1バイトのものだけでなく、カウンター値のように6バイトのものもあります。

コマンド

VTR汎用コマンド

■ ERROR (02H)

機能：動作中のエラーを知らせます。

解説：・VTRがエラー（メカトラブル）のために実行できないコマンドを受信したときに返します。
・VTRにエラー（メカトラブル）が発生したとき、1度だけ返します。

■ CASSETTE OUT (03H)

機能：EJECTコマンドによって、VTR内よりカセットが排出されたことを知らせます。

解説：・カセットが排出されたときに返します。
・STATUS DATA返答中などでCASSETTE OUTを検出したときは、前のコマンドの返答終了後に返します。

■ ACK (0AH)

機能：指定されたコマンドに対する肯定応答

解説：接続したVTRに有効なコマンドが送られたとき、VTRはコマンドを受け付けてコンピューターにACKコードを返します。

■ NAK (0BH)

機能：指定されたコマンドに対する否定応答

解説：接続したVTRに無効なコマンドが送られたとき、VTRはコマンドを拒否し、コンピューターにNAKコードを返します。

■ CLEAR (56H)

機能：すべてのエラー状態をクリアします。

解説：このコマンドが送られると、VTRはコマンド受信可能状態になります。

このコマンドは、他のコマンドに対して優先されます。

例：

	CMD
RXD	56H
TXD	0AH

ご注意

このコマンドは、指定したシーケンスを停止させ、VTRを静止画モードにします。記録中、記録一時停止、オーディオダビング、オーディオダビング一時停止モードは、停止モードになります。

■ STATUS INQ (67H)

機能：VTRの現在の動作ステータスを要求します。

解説：このコマンドが送られると、VTRは現在の動作ステータスを表す5バイトのデータ (STATUSDATA) を返します。
データの各ビットの割り当ては次の通りです。

第1バイト

- BIT 0: ERROR; 1=VTRのシステムダウン時。システムダウン復帰時にクリアされます。
- 1: 未定義; 0
- 2: 未定義; 0
- 3: CASSETTE OUT; 1=カセットアウト時
- 4: 未定義; 0
- 5: 未定義; 0
- 6: SEARCH; 0
- 7: 未定義; 1

第2バイト

- BIT 0: 未定義; 0
- 1: 未定義; 0
- 2: REC STANDBY; 1=記録、記録一時停止、オーディオダビング、オーディオダビング一時停止モード
- 3: 未定義; 0
- 4: REC BUSY; 1=記録、オーディオダビングモード
- 5: 未定義; 0
- 6: 未定義; 0
- 7: 未定義; 0

第3バイト

- BIT 0: 未定義; 0
- 1: 未定義; 0
- 2: 未定義; 0
- 3: 未定義; 0
- 4: 未定義; 1
- 5: 未定義; 0
- 6: 未定義; 0
- 7: 未定義; 0

第4バイト

- BIT 0: 数値入力; 0
- 1: SEARCH MODE; 0
- 2: 未定義; 0
- 3: 未定義; 0
- 4: 未定義; 0
- 5: 未定義; 0
- 6: 未定義; 0
- 7: 未定義; 0

第5バイト

- BIT 0: NORMAL PLAY; 1=記録、オーディオダビング、再生、逆方向再生中
- 1: FAST PLAY; 1=SPモードで高速再生中
- 2: SLOW MODE; 1=±X 1/5のスロー再生中
- 3: STEP MODE; 1=±X 1/30のスロー再生中
- 4: SCAN MODE; 1=EPモードで高速再生中 (CUE/REV)
- 5: STILL MODE; 1=再生一時停止、正方向または逆方向のコマ送り、記録一時停止、オーディオダビング一時停止中
- 6: STOP MODE; 1=カセットアウト、停止、スタンバイ時
- 7: PLAY DIRECTION; 再生モードの方向を示します。
1=逆方向。

■ VTR INQUIRY (FBH)

機能：接続機器がVTRかどうかを確認します。

解説：このコマンドを受信すると、VTRはACKを返します。

■ HEAD HOUR (D2H)

機能：ビデオヘッドの使用時間を返すようVTRに要求します。

解説：このコマンドを受信すると、VTRはビデオヘッドの使用時間を5バイトで返します。VTRがメニュー画面を表示しているときは動作しません。

例: 00333の場合

CMD		D1	D2	D3	D4	D5
RXD	D2H					
TXD	30H	30H	33H	33H	33H	

■ TIME DATA SENSE (A0H)

機能：CTLデータを返すようVTRに要求します。

解説：このコマンドが送られると、VTRがカウンターの値を6バイトで返します。1桁目はA1が「+」、A2が「-」を示します。

例: -1:56:32

CMD		D1	D2	D3	D4	D5	D6
RXD	A0H						
TXD	A2	31H	35H	36H	33H	32H	

VTR動作制御コマンド

■ PLAY (3AH)

機能：VTRを標準再生モードにします。

解説：PLAYコマンドが送られると、VTRはテープをノーマルスピードで正方向に再生します。

■ REV PLAY (4AH)

機能：VTRを逆方向の1倍速再生モードにします。

解説：REV PLAYコマンドが送られると、VTRはテープをノーマルスピードで逆方向に再生します。

■ FWD X2 PLAY (3BH)

機能：VTRを高速（2倍速）再生モードにします。

解説：FWD X2 PLAYコマンドが送られると、VTRはテープを2倍速で正方向に再生します。

■ REV X2 PLAY (4BH)

機能：VTRを逆方向の高速（2倍速）再生モードにします。

解説：REV X2 PLAYコマンドが送られると、VTRはテープを2倍速で逆方向に再生します。

■ FWD-SLOW (3CH)

機能：VTRを正方向のスロー再生モード（1/5倍速）にします。

解説：FWD-SLOWコマンドが送られると、VTRはテープを1/5倍速で正方向に再生します。

■ REV-SLOW (4CH)

機能：VTRを逆方向のスロー再生モード（1/5倍速）にします。

解説：REV-SLOWコマンドが送られると、VTRはテープを1/5倍速で逆方向に再生します。

■ FWD-SLOW (3DH)

機能：VTRを正方向のスロー再生モード（1/30倍速）にします。

解説：FWD-SLOWコマンドが送られると、VTRはテープを1/30倍速で正方向に再生します。

■ REV-SLOW (4DH)

機能：VTRを逆方向のスロー再生モード（1/30倍速）にします。

解説：REV-SLOWコマンドが送られると、VTRはテープを1/30倍速で逆方向に再生します。

■ FWD-SCAN (3EH)

機能：VTRを正方向のスキャン再生モードにします。

解説：FWD-SCANコマンドが送られると、VTRはテープを5倍速（SPモード）または15倍速（EPモード）で正方向にスキャン再生します。

■ REV-SCAN (4EH)

機能：VTRを逆方向のスキャン再生モードにします。

解説：REV-SCANコマンドが送られると、VTRはテープを5倍速（SPモード）または15倍速（EPモード）で逆方向にスキャン再生します。

■ PLAY PAUSE (4FH)

機能：VTRを静止画（PLAY PAUSE）モードにします。

■ STOP (3FH)

機能：VTRを停止モードにします。

■ FF (ABH)

機能：VTRを早送り（FF）モードにします。

解説：FFコマンドが送られると、VTRはテープを早送りします。再生中は、早送り再生をします。また、静止画モードでは、1コマ送ります。

■ REW (ACH)

機能：VTRを巻き戻し（REW）モードにします。

解説：REWコマンドが送られると、VTRはテープを巻き戻します。再生中は、巻き戻し再生をします。また、静止画モードでは、1コマ戻します。

■ EJECT (2AHまたはA3H)

機能：VTRのカセットをイジェクトします。

解説：EJECTコマンドが送られると、VTRは動作を停止し、カセットが出てきます。EJECTコマンドの実行が終了すると、VTRはコンピューターにCASSETTE OUT (03H) を返します。

カセットが挿入されていないときにこのコマンドが送られると、VTRはNAKコードを返します。

例：

	CMD
RXD	2AH
TXD	0AH
	03H

■ REC (CAH)

機能：VTRを録画モードにします。このコマンドの前にREC/DUB REQUESTコマンドの送信が必要です。

■ REC PAUSE (CBH)

機能：VTRを録画スタンバイモードにします。

■ REC/DUB REQUEST (FAH)

機能：VTRをRECまたはDUBコマンド待ち状態にします。記録やダビングを開始するときは、始めにこのコマンドを送る必要があります。

■ TRACKING + (50H)

機能：トラッキング調整の設定値を1ステップ上げます。

- ・再生中にTRACKING+コマンドが送られると、トラッキング調整値を1ステップ上げます。
- ・一時停止中にTRACKING+コマンドが送られると、垂直同期調整値を1ステップ上げます。
- ・メニュー表示中にTRACKING+コマンドが送られると、設定項目のデータを1つ上げます。

■ TRACKING - (51H)

機能：トラッキング調整の設定値を1ステップ下げます。

- ・再生中にTRACKING-コマンドが送られると、トラッキング調整値を1ステップ下げます。
- ・一時停止中にTRACKING-コマンドが送られると、垂直同期調整値を1ステップ下げます。
- ・メニュー表示中にTRACKING-コマンドが送られると、設定項目のデータを1つ下げます。

■ AUTO TRACKING (52H)

機能：再生中に送ると、トラッキング調整値を初期値(AUTO TRACKING)に戻します。

■ SHIFT LEFT (53H)

機能：メニュー表示時、設定項目を左に移動します。

■ SHIFT UP (54H)

機能：メニュー表示時、設定項目を上に移動します。

■ EXECUTE (55H)

機能：メニュー操作時、データ設定の確定を行います。

■ MENU ► (63H)

機能：・メニュー表示時、サブメニュー画面に切り換えます。

- ・メニューのデータ表示画面のとき、表示を右に移動します。
- ・メニュー操作時、データ設定の確定を行います。

■ MENU ▼ (64H)

機能：・メニュー表示時、カーソルを下に移動します。

- ・メニューのデータ表示画面のとき、表示を下に移動します。

■ MENU (74H)

機能：通常の画面からメニュー画面に切り換えます。または、メニュー画面から通常の画面に切り換えます。MENUコマンドを送る度に順次切り換わります。

■ TIMER ON/OFF (60H)

機能：タイマー予約を「ON」(待機状態)にします。TIMER ONモード時にこのコマンドが送られると、タイマー予約を「OFF」(待機状態を解除)します。

■ POWER ON/OFF (7BH)

機能：電源を「ON」(入)にします。POWER ONモード時にこのコマンドが送られると、電源を「OFF」(切)します。

■ COUNT RESET (E2H)

機能：カウンター値をリセットします。

コマンドテーブル一覧

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0						TRACKING +	TIMER ON/OFF				T/D SENSE					
1						TRACKING --					+					
2	ERROR					AUTO TRACKING					--			HEAD HOUR	COUNT RESET	
3	CASSETTE OUT					SHIFT ◀	MENU ▶				EJECT					
4						SHIFT ▲	MENU ▼	MENU								
5						EXECUTE										
6						CLEAR										
7							STATUS INQ							STATUS SENSE		
8																
9																
A	ACK	EJECT	PLAY	REV PLAY									REC			REC/ DUB REQUEST
B	NAK		FWD X2 PLAY	REV X2 PLAY			POWER ON/OFF				FF		REC PAUSE			VTR INQ
C			FWD SLOW x 1/5	REV SLOW x 1/5							REW					
D			FWD SLOW x 1/30	REV SLOW x 1/30												
E			FWD SCAN (SP:x5/ EP:x15)	REV SCAN (SP:x5/ EP:x15)												
F			STOP	PLAY PAUSE					DEVICE TYPE							

ビデオヘッドのクリーニングをする

クリーニングカセットを定期的にお使いください。

記録・再生をすると、ビデオヘッドが少しずつ汚れてきます。本機は、オートヘッドクリーナーを内蔵していますが、その効果をよりあげるため、およそ20時間お使いになったら、別売りの乾式クリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングしてください。

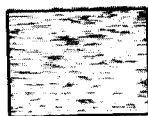
クリーニングカセットは、ビデオのお買い上げ店、またはソニーショップで「乾式」表示のあるものをお求めください。VHS用クリーニングカセットT-25CLDをおすすめします。

次のような症状が出たら、すぐにヘッドをクリーニングしてください。ヘッドが汚れています。

- 画像がザラついたり、不鮮明になる。
- 画像が出なかったり、灰色の画面になる。



汚れははじめのとき



汚れがひどいとき

ご注意

- クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、くり返しヘッドをクリーニングします。ただし、5回以上くり返さないでください。それでも正常にならないときは、ヘッドの磨耗が考えられます。ヘッド交換が必要なため、お買い上げ店にご相談ください。
- 湿式のクリーニングカセットはお使いにならないでください。故障の原因になることがあります。

約1000時間のご使用を目安に点検を

ビデオデッキは画像を磁気テープに記録したり再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。

特にビデオヘッドや、ビデオテープを動かす機械部分は、長く使う間に汚れたり磨耗したりします。いつまでも美しい画像をお楽しみいただくために、**およそ1000時間を目安に点検**（清掃、注油、一部部品交換）することをおすすめします。詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

ビデオデッキを長時間使用しないときは

ときどき電源を入れて、約3分間ほど再生状態にしてください。長時間使用しないまましていると、機能に支障をきたすことがあります。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを➡この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは➡お買い上げ店にご相談ください。保証期間中の修理は➡保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は➡修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検を。

	症 状	処 置
電源	電源が入らない。	・電源コードを正しくつなぐ。
	電源が入っているのに動かない。 電源が入っているのに表示窓の表示が出ない、 または表示がおかしい。	・CLボタンを押す。または、電源を切ってから電源コードをコンセントから抜く。それでも動作しないときは、お買い上げ店にご相談ください。
再生	ビデオの画像が出ない。	・テレビやモニターの入力切換を「ビデオ」にする。 ・正しく接続する。(14～15ページ)
	テープの再生画がきたない。	・TRACKING $\pm$ ボタンを押して、トラッキングを調整する。(41ページ) ・ビデオヘッドのクリーニングをする。(54ページ) ・ビデオヘッドが摩耗しています。ヘッド交換が必要なため、お買い上げ店にご相談ください。(54ページ)
	ピクチャーサーチ中、画像が上下に流れる。	・テレビやモニターの垂直同期つまみを調整する。
	音が出ない。	・テープに傷がある。新しいカセットを使う。
	オートリビート再生のときに画像が出ない。	・テープの初めの無記録部分が25秒以下のカセットを使う。
	オートリビート再生のとき、希望のテープ位置が再生できない。	・無記録部分がオートリビート再生にあった条件のカセットを使う。(34ページ)
	●RECボタンを押すとカセットが出てきてしまう	・記録する場合は、誤消去防止用のツメが折れていないカセットを使う(17ページ)または、「SET UP2」メニューで「REC TAB MODE」を「ON」に設定して、ツメが折れているカセットでも記録できるようにする。(27ページ)
記録	●RECボタンを押しても動作しない。	・テープが巻き戻されている。
	ハイファイ録音できない。	・REC LEVELつまみで録音レベルを調整する。(24ページ)
	タイマー記録・再生ができない。	・時計を合わせる。(18ページ) ・カセットが入っているか確認する。(17ページ) ・記録するときは、誤消去防止用のツメが折れていないカセットを使う(17ページ)または、「SET UP2」メニューで「REC TAB MODE」を「ON」に設定して、ツメが折れているカセットでも記録できるようにする(27ページ) ・テープを巻き戻す。 ・タイマー記録・再生を正しく予約する。(36～40ページ) ・「SET UP2」メニューの「SENSOR REC」を「OFF」にする。(28ページ)
その他	操作ボタンを押しても動作しない。	・カセットが入っていない。カセットを入れてください。(17ページ) ・内部が結露している。「dddd」表示が消滅するまで待ってください。(9ページ) ・タイマー録画待機中またはタイマー録画中です。TIMERボタンを押して、「TIMER」表示を消してください。(37ページ)
	カセットが入らない	・すでにカセットが入っていたら取り出す。
	リモコンが働かない。	・リモコンを本機のリモコン受光部に向ける。(16ページ) ・電池が消耗していたら、新しい電池と交換する。(16ページ) ・「TV」/「VTR」切換スイッチを「VTR」側にする。(16ページ) ・CONTROL切換スイッチを「LOCAL」にする。(16、47ページ) ・「SET UP1」メニューの「WIRELESS」を「ON」にする。(45ページ)

一般

電源電圧	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	20 W
動作温度	5°C～40°C
動作湿度	80 %以下
保存温度	-20°C～60°C
保存湿度	80 %以下
最大外形寸法	約420×99.5×303 mm (突起部を含む)
質量	約4.6 kg

ビデオ系

映像信号方式	NTSC カラー、EIA標準方式
録画方式	回転2ヘッドアジマスヘリカル スキャン方式
使用カセット	1/2 インチ VHS、S-VHS カセット
テープ速度	SP (標準) モード: 33.35 mm/秒 EP (3倍) モード: 11.12 mm/秒
早送り/巻き戻し時間	100 秒以内 (T-120 テープ使用時)
水平解像度	400 本 (S-VHS/S-VHS ET) 240 本 (VHS モード)
映像S/N比	SP モード: 46 dB (S-VHS/S-VHS ET) 44 dB (VHS) EP モード: 45 dB (S-VHS/S-VHS ET) 44 dB (VHS)

オーディオ系

オーディオ方式	ハイファイ 2チャンネル ノーマル 1チャンネル
ひずみ率	0.5 %以下 (ハイファイ)
音声S/N比	SP モード: 43 dB EP モード: 42 dB
ダイナミックレンジ	90 dB (ハイファイ)
周波数特性	20 Hz～20 kHz (ハイファイ)

タイマー部

時計方式	クォーツロック
時刻表示	24時間方式
タイマーセット	最大8プログラム
バックアップ	約30日

入出力端子

入力端子	VHF/UHF IN: 1軸、 75 Ω F型コネクター (1) VIDEO IN: BNC型 (1) 1 Vp-p、75 Ω 不平衡、同期負 S-VIDEO IN: 4ピン DINコネクター (1) AUDIO IN: ピンジャック (2) 入力レベル: -8 dBs (0 dBs=0.775 Vrms) 入力インピーダンス: 47 kΩ MIC IN端子 (1) 3.5mmφミニジャック、-60dBs、 インピーダンス10 kΩ RS-232C端子、9ピン D-sub (1) HEADPHONE IN: ステレオミニジャック (1) CTL-S IN: ステレオミニジャック (1) FOOT SW/TALLY: ステレオミニジャック (1)
出力端子	VHF/UHF OUT: 1軸、 75 Ω F型コネクター (1) VIDEO OUT: BNC型 (1) 1 Vp-p、75 Ω 不平衡、同期負 S-VIDEO OUT: 4ピン DINコネクター (1) AUDIO OUT: ピンジャック (2) 出力レベル: -8 dBs (47 kΩ 負荷時) 出力インピーダンス: 10k Ω 以下 CTL-S OUT: ステレオミニジャック (1)

付属品

リモコン RMT-V190A (1)
単3形乾電池 (2)
電源コード (1)
取扱説明書 (1)
保証書 (1)
業務製品ご相談窓口のご案内 (1)

別売りアクセサリ

リモートコントロールユニット RM-V200、SVRM-100A
フットスイッチ FS-20

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。